別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画		
事　項	記　入　欄	備考
計画の区分	学部の学科の設置	
フリガナ 設置者	ガッコウホウジン　カンサイガイコクゴダイガク 学校法人　関西外国語大学	
フリガナ 大学の名称	カンサイガイコクゴダイガク 関西外国語大学　(Kansai Gaidai University)	
大学本部の位置	大阪府枚方市中宮東之町16番1号	
大学の目的	建学の理念に則り、公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応えていく実学の教授研究を通して、国際社会に貢献できる豊かな教養を備えた人材を育成することを目的とする。	
新設学部等の目的	英語ならびにアジアの言語、グローバル・アジアのありよう、アジアの文化・社会に関する深い知識と教養の学修により、アジアの多様な人々と協働しつつ共創によって新たな価値を創出し、アジアを起点として世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材の育成を目的とする。	

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	備考
		年	人	年次 人	人			年月 第　年次		
	英語国際学部 (College of Global Communication and Language) アジア共創学科 (School of Japan and Asian Studies)	4	200	3年次 20	840	学士 (アジア共創) 【Bachelor of Arts in Japan and Asian Studies】	文学関係	令和7年4月 第1年次 令和9年4月 第3年次	大阪府枚方市御殿山南町6番1号	
	計		200	3年次 20	840					

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	備考
英語国際学部 英語国際学科〔定員減〕　(△200)　(令和7年4月) 英語国際学科〔3年次編入学定員減〕　(△20)　(令和9年4月) 令和6年4月　関西外国語大学短期大学部の収容定員に係る学則変更届出予定 英米語学科〔定員減〕　(△50)　(令和7年4月) 未来キャリア英語学科〔定員減〕　(△50)　(令和7年4月)	

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	備考
		講義	演習	実験・実習	計		
	英語国際学部 アジア共創学科	76 科目	56 科目	11 科目	143 科目	124 単位	

学部等の名称		基幹教員 教授	准教授	講師	助教	計	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	備考
新設分	英語国際学部 アジア共創学科	人 6 (6)	人 7 (7)	人 3 (3)	人 1 (1)	人 17 (17)	人 0 (0)	人 59 (17)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (6)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	17 (17)			
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	6 (6)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	17 (17)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	6 (6)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	17 (17)			
	計	6 (6)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	59 (17)	

既設分	英語国際学部 英語国際学科	16 16	14 (14)	3 (3)	3 (3)	36 (36)	0 (0)	148 (148)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	16 (16)	13 (13)	3 (3)	3 (3)	35 (35)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 17人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
	小計（ａ～ｂ）	16 (16)	14 (14)	3 (3)	3 (3)	36 (36)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	16 (16)	14 (14)	3 (3)	3 (3)	36 (36)			
	外国語学部 英米語学科	49 (49)	37 (37)	27 (27)	7 (7)	120 (120)	0 (0)	278 (278)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	48 (48)	35 (35)	27 (27)	6 (6)	116 (116)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 21人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	1 (1)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	4 (4)			
	小計（ａ～ｂ）	49 (49)	37 (37)	27 (27)	7 (7)	120 (120)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	49 (49)	37 (37)	27 (27)	7 (7)	120 (120)			
	外国語学部 スペイン語学科	9 (9)	7 (7)	4 (4)	2 (2)	22 (22)	0 (0)	23 (23)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	9 (9)	7 (7)	4 (4)	2 (2)	22 (22)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　9人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	9 (9)	7 (7)	4 (4)	2 (2)	22 (22)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	9 (9)	7 (7)	4 (4)	2 (2)	22 (22)			
	外国語学部 英語・デジタルコミュニケーション学科	6 (6)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	59 (59)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (6)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	13 (13)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	6 (6)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	13 (13)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	6 (6)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	13 (13)			

既設分	外国語学部 国際日本学科	5 (5)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	67 (58)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (5)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	16 (16)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	5 (5)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	16 (16)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	5 (5)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	16 (16)			
	英語キャリア学部 英語キャリア学科	6 (6)	5 (5)	9 (9)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	60 (60)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	5 (5)	9 (9)	0 (0)	18 (18)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 11人 上記人数は、英語ｷｬﾘｱ学科小学校教員ｺｰｽ含む。
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)			
	小計（ａ～ｂ）	6 (6)	5 (5)	9 (9)	0 (0)	20 (20)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	6 (6)	5 (5)	9 (9)	0 (0)	20 (20)			
	英語キャリア学部 英語キャリア学科小学校教員コース	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	21 (21)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
	国際共生学部 国際共生学科	7 (7)	4 (4)	6 (6)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	15 (15)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	4 (4)	6 (6)	0 (0)	17 (17)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　9人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	7 (7)	4 (4)	6 (6)	0 (0)	17 (17)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	7 (7)	4 (4)	6 (6)	0 (0)	17 (17)			
	計	105 (105)	80 (80)	57 (57)	12 (12)	254 (254)	0 (0)	671 (662)	
合　　計		111 (111)	87 (87)	60 (60)	13 (13)	271 (271)	0 (0)	730 (679)	

職種	専属	その他	計	
事務職員	156 人 (156)	34 人 (34)	190 人 (190)	職員については、併設短期大学部と共通
技術職員	0 (0)	16 (16)	16 (16)	
図書館職員	8 (8)	17 (17)	25 (25)	
その他の職員	0 (0)	146 (146)	146 (146)	
指導補助者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
計	164 (164)	213 (213)	377 (377)	

校地等 区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
校舎敷地	45,032.31㎡	222,601.42㎡	0㎡	267,633.73㎡	大学全体 共用は関西外国語大学短期大学部（必要面積 12,000㎡）
その他	5,253.52㎡	24,173.01㎡	0㎡	24,173.01㎡	
合計	50,285.83㎡	246,774.43㎡	0㎡	291,806.74㎡	

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	29,363.80㎡ (29,363.80㎡)	77,225.02㎡ (77,225.02㎡)	5,938.73㎡ (5938.73㎡)	112,527.55㎡ (112,527.55㎡)	大学全体 共用は関西外国語大学短期大学部（必要面積 6,050㎡）

教室・教員研究室	教室		教員研究室		
	85室		78室		御殿山キャンパス全体

図書・設備 新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕 冊	電子図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
英語国際学部 アジア共創学科	163,500〔54,000〕 (161,454〔53,299〕)	500〔200〕 (447〔192〕)	30,500〔29,930〕 (29,451〔29,245〕)	30,000〔29,600〕 (28,993〔28,932〕)	330 (283)	0 0	大学全体での共用分 図書586,929〔252,392〕 雑誌2,775〔762〕
計	163,500〔54,000〕 (161,454〔53,299〕)	500〔200〕 (447〔192〕)	30,500〔29,930〕 (29,451〔29,245〕)	30,000〔29,600〕 (28,993〔28,932〕)	330 (283)	0 0	

スポーツ施設等	スポーツ施設	講堂	厚生補導施設	
	13,277㎡	7,867㎡㎡	7,867.35㎡㎡	大学全体

経費の見積り及び維持方法の概要 経費の見積り 区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
教員１人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	—	—
共同研究費等		2,500千円	2,500千円	2,500千円	2,500千円	—	—
図書購入費	1,000千円	500千円	500千円	500千円	500千円	—	—
設備購入費	—	—	—	—	—	—	—
学生１人当り納付金		第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
		1,400千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	—	—
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学等経常経費補助金　等					

	大学の名称	関西外国語大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率(収容定員充足率)	開設年度	所在地	
既設大学等の状況		年	人	年次人	人		倍			
	外国語学部			3年次			1.06			
	英米語学科	4	730	200	4435	学士（英語学）	1.06	昭和41年度	大阪府枚方市中宮東之町16番1号	※令和5年度入学定員減（△305） ※令和6年度入学定員減（△135） ※令和6年度3年次編入学定員減（△100）
	スペイン語学科	4	250	20	1045	学士（スペイン語学）	1.00	昭和41年度	同上	※令和6年度3年次編入学定員減（△5）
	英語・ﾃﾞｼﾞﾀﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	200	0	400	学士（英語学）	1.11	令和5年度	同上	
	国際日本学科	4	200	0	200	学士（国際日本）	1.10	令和6年度	同上	
	英語国際学部			3年次			1.05			
	英語国際学科	4	700	75	2975	学士（英語国際）	1.05	平成26年度	大阪府枚方市御殿山南町6番1号	※令和6年度3年次編入学定員減（△25）
	英語キャリア学部						0.98			
	英語キャリア学科	4	120	－	480	学士（英語キャリア）	1.04	平成25年度	大阪府枚方市中宮東之町16番1号	
	英語キャリア学科 小学校教員コース	4	50	－	160	学士（教育）	0.80	平成25年度	同上	※令和5年度入学定員増（20）
	国際共生学部			（秋入3年次			0.98			
	国際共生学科	4	70	30	170	学士（国際共生）	0.98	令和5年度	同上	
	外国語学研究科									
	博士前期課程						0.50			
	英語学専攻	2	15	－	30	修士（英語学） 修士（英語教育）	0.30	昭和48年度	同上	
	言語文化専攻	2	20	－	40	修士（言語文化） 修士（日本語学） 修士（国際共生コミュニケーション）	0.65	昭和51年度	同上	
	博士後期課程						0.33			
	英語学専攻	3	3	－	9	博士（英語学） 博士（英語教育）	0.22	昭和54年度	同上	
	言語文化専攻	3	3	－	9	博士（言語学） 博士（言語文化） 博士（日本語学） 博士（文化人類学） 博士（比較文化学）	0.33	昭和54年度	同上	

	大学の名称	関西外国語大学短期大学部								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率(収容定員充足率)	開設年度	所在地	
既設大学等の状況		年	人	年次人	人		倍			
	英米語学科	2	550	－	1350	短期大学士（英語学）	0.75	昭和28年度	大阪府枚方市中宮東之町16番1号	※令和6年度入学定員減（△250）
	未来キャリア英語学科	2	150	－	150	短期大学士（キャリア英語）	0.70	令和6年度	同上	

附属施設の概要	名　称　図書館学術情報センター 目　的　学術情報および情報通信技術環境の整備、管理・運用等を行い、学生並びに教職員の利用に供することを目的とする。 所在地　大阪府枚方市中宮東之町16番1号（中宮キャンパス） 大阪府枚方市御殿山南町6番1号（御殿山キャンパス・グローバルタウン） 設置年月　平成14年4月 規模等　図書館学術情報センター（3階建：中宮キャンパス）、LEARNING COMMONS BLD.（4階建：御殿山キャンパス・グローバルタウン）を使用	
	名　称　国際文化研究所 目　的　文化人類学に関する調査研究、特に各国の文化の比較研究を行い、世界諸民族の文化の友好親善に貢献することを目的とする。 所在地　大阪府枚方市中宮東之町16番1号 設置年月　昭和47年4月 規模等　インターナショナル・コミュニケーション・センターの4階の一部を使用	
	名　称　人権教育思想研究所 目　的　人権問題及び人権教育思想について研究調査し、基本的人権の確立に努めることを目的とする。 所在地　大阪府枚方市中宮東之町16番1号 設置年月　平成6年4月 規模等　インターナショナル・コミュニケーション・センターの4階の一部を使用	
	名　称　教職教育センター 目　的　本学「教職課程」履修者を対象にした教員養成に係る支援活動および小・中・高等学校等との教育研究連携事業を通した教育現場での諸課題の教育研究等をにより、幅広く学内外の教育政策・事業全般の推進に貢献することを目的とする。 所在地　大阪府枚方市中宮東之町16番1号 設置年月　平成15年9月 規模等　インターナショナル・コミュニケーション・センターの1階の一部を使用	
	名　称　イベロアメリカ研究センター 目　的　スペイン、ポルトガルならびにラテンアメリカを対象とする研究を行い、実践的な外国語能力と国際社会に通用する知識と情報を学内外に供することを目的とする。 所在地　大阪府枚方市中宮東之町16番1号 設置年月　平成22年4月 規模等　インターナショナル・コミュニケーション・センターの4階の一部を使用	
	名　称　アジアセンター 目　的　中国、韓国をはじめとするアジア諸国の言語や文化に関する教育や人的交流等企画・推進を目的とする。 所在地　大阪府枚方市御殿山南町6番1号 設置年月　令和5年4月 規模等　オフィスＢ棟2階の一部を使用	

（注）

1　共同学科の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

2　「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。

3「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。

4　私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

5　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

6　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

7　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部アジア共創学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門教育科目	[言語コミュニケーション科目群]															
	Introduction to Global Studies Ⅰ	1前	○		4			○		1	1					※1
	Introduction to Global Studies Ⅱ	1後	○		4			○		1	1					※1
	Introduction to Global Society Ⅰ	1前	○		4			○				1			1	※1
	Introduction to Global Society Ⅱ	1後	○		4			○				1			1	※1
	Introduction to Global Communication Ⅰ	1前	○		4			○				1			1	※1
	Introduction to Global Communication Ⅱ	1後	○		4			○				1			1	※1
	Global Issues A	2前･後	○		4			○				1			1	※1
	Global Issues B	2前･後	○		4			○				1			1	※1
	中国語Ⅰ	1前	○		2			○		1	3					※2
	中国語Ⅱ	1後	○		2			○		1	3					※2
	韓国語Ⅰ	1前	○		2			○					1			※2
	韓国語Ⅱ	1後	○		2			○					1			※2
	タイ語Ⅰ	1前	○		2			○							1	※2
	タイ語Ⅱ	1後	○		2			○							1	※2
	ベトナム語Ⅰ	1前	○		2			○							1	※2
	ベトナム語Ⅱ	1後	○		2			○							1	※2
	日本語会話Ⅰ	1前･後	○		4			○					1			※3
	日本語会話Ⅱ	1前･後	○		4			○					1			※3
	日本語表現Ⅰ	1前･後	○		4			○			1					※3
	日本語表現Ⅱ	1前･後	○		4			○			1					※3
	日本語読解Ⅰ	1前･後	○		4			○				1				※3
	日本語読解Ⅱ	1前･後	○		4			○				1				※3
	日本語総合Ⅰ	1前･後	○		4			○		1	1					※3
	日本語総合Ⅱ	1前･後	○		4			○		1	1					※3
	ビジネス日本語Ⅰ	2前	○		4			○		1						※3
	ビジネス日本語Ⅱ	2後	○		4			○		1						※3
	アカデミック日本語Ⅰ	2前	○		4			○			1					※3
	アカデミック日本語Ⅱ	2後	○		4			○			1					※3
	Strategic Debate A	2前	○		2			○							1	
	Strategic Debate B	2後	○		2			○							1	
	Strategic Presentation A	2前	○		2			○							1	
	Strategic Presentation B	2後	○		2			○							1	
	国際コミュニケーション研究A	2･3･4前･後			2		○								1	※5
	国際コミュニケーション研究B	2･3･4前･後			2		○								1	※5
	国際コミュニケーション研究C	2･3･4前･後			4		○								1	※5
	国際コミュニケーション研究D	2･3･4前･後			4		○								1	※5
	[地域・文化科目群]															
	ジャパノロジー	1前	○		4		○			1						※4
	日本の文学	2後	○		4		○								1	
	日本の現代文化	1後	○		4		○								1	
	アジアの現代文化	2後	○		4		○			1						
	日本の伝統文化	1前	○		4		○								1	
	アジアの伝統文化	2前	○		4		○								1	
	アジア交流史	3後	○		4		○								1	※4
	日本の文明と歴史	3前	○		4		○			1						
	日本の社会	1後	○		4		○								1	
	日本のホスピタリティ	2前	○		4		○								1	
	日本の地域と観光	3前	○		4		○								1	
	アジアの地域と観光	2後	○		4		○								1	
	[グローバル社会科目群]															
	国際関係論	1後	○		4		○								1	※4
	人間の安全保障	2前	○		4		○				1					
	アジアの国際関係	2前	○		4		○								1	
	アジアの紛争と平和構築	3前	○		4		○								1	

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部アジア共創学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門教育科目	経済学	1前	○		4		○				1					※4
	日本の政治と経済	3後	○		4		○				1					
	アジアの開発と経済	3後	○		4		○				1					
	経営学	1前	○		4		○								1	※4
	マーケティング	2後	○		4		○								1	
	アジアのビジネス	2前	○		4		○				1					
	デジタルリテラシー	1通	○		2			○							1	
	キャリアデザインA	2前	○		2		○								1	
	キャリアデザインB	3後	○		2		○								1	
	[サステナビリティ科目群]															
	SDGsスタディーズ	1後	○		4		○								1	※4
	多文化共生論	2前	○		4		○								1	
	地球環境と社会	2後	○		4		○								1	
	サステナブルツーリズム	2後	○		4		○								1	
	現代社会とイノベーション	2前	○		4		○								1	
	アントレプレナー論	3前	○		4		○								1	
	ソーシャルビジネス	3後	○		4		○								1	
	[アジア共創科目群]															
	アジア地政学A	1前	○	2			○				4					
	アジア地政学B	1後	○	2			○				4					
	アジア共創基礎演習A	1前・後	○	2				○		4	5					
	アジア共創基礎演習B	1前・後	○	2				○		4	5					
	海外事情研究A	2・3・4前・後			4		○								1	※5
	海外事情研究B	2・3・4前・後			4		○								1	※5
	海外事情研究C	2・3・4前・後			4		○								1	※5
	海外事情研究D	2・3・4前・後			4		○								1	※5
	アジア共創セミナーⅠ	3前	○		2			○		2	1				1	
	アジア共創セミナーⅡ	3後	○		2			○		2	1				1	
	アジア共創キャップ・ストーンⅠ	4前	○		2			○		6	7	3	1			
	アジア共創キャップ・ストーンⅡ	4後	○		2			○		6	7	3	1			
	[日本語教員養成科目群]															
	異文化と歴史	2後			4		○			1						
	ことばとコミュニケーション	2後			4		○				1					
	エリアスタディーズ	3前			4		○								1	
	教育心理学	1前			2		○								1	
	教職概論	1後			2		○								1	
	教育制度概論	2前			2		○								1	
	教育方法の理論と実践	3後			2		○								1	
	生徒・進路指導論	3前			2		○								1	
	教育相談	2後			2		○								1	
	日本語学概論	1後			4		○								1	
	日本語学A（音韻・語彙）	2後			4		○								1	
	日本語学B（文法）	2前			4		○								1	
	日本語教授法A	3前			4		○								1	
	日本語教授法B	3後			4		○								1	
	日本語教育演習	4後			2			○							1	
	小計（95科目）	－	－	8	308	0	－			6	7	3	1	0	32	

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部アジア共創学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
全学共通教育科目	宗教学	3前			4		○								1	
	哲学	3前			4		○								1	
	人権問題論	3後			4		○								1	
	憲法	2前			4		○								1	
	民法	2後			4		○								1	
	労働関係法	2前			4		○								1	
	政治学	2後			4		○								1	
	グローバル・アース	2後			4		○								1	
	数学	2前			4		○								1	
	心理学	3前			4		○								1	
	科学とくらし	3後			4		○								1	
	文学	3前			4		○								1	
	総合科目A	3前			4		○								1	
	総合科目B	3前			4		○								1	
	総合科目C	3前			4		○								1	
	総合科目D	3後			4		○								1	
	総合科目E	3前			4		○								1	
	総合科目F	1前			2		○			1						
	総合科目G	1後			2		○								1	
	総合科目H	1前			2		○								1	
	総合科目I	1後			2		○								1	
	スポーツ健康科学	3前・後			2				○						1	
	スペイン語Ⅰ	2前			2			○							1	
	スペイン語Ⅱ	2後			2			○							1	
	フランス語Ⅰ	2前			2			○							1	
	フランス語Ⅱ	2後			2			○							1	
	ドイツ語Ⅰ	2前			2			○							1	
	ドイツ語Ⅱ	2後			2			○							1	
	イタリア語Ⅰ	2前			2			○							1	
	イタリア語Ⅱ	2後			2			○							1	
	ロシア語	2前			2			○							1	
	ポルトガル語	2後			2			○							1	
	デンマーク語	2前			2			○							1	
	スウェーデン語	2後			2			○							1	
	ハンガリー語	2前			2			○							1	
	フィンランド語	2休			2			○							1	集中
	アラビア語	2前			2			○							1	
	ラテン語	2後			2			○							1	
	就業体験実習A	1･2･3前･後			2				○						1	※6
	就業体験実習B	1･2･3前･後			2				○						1	※6
	就業体験実習C	1･2･3前･後			2				○						1	※6
	就業体験実習D	1･2･3前･後			2				○						1	※6
	就業体験実習E	1･2･3前･後			1				○						1	※6
	ボランティア実習A	1･2･3前･後			2				○						1	※6
	ボランティア実習B	1･2･3前･後			2				○						1	※6
	ボランティア実習C	1･2･3前･後			2				○						1	※6
	ボランティア実習D	1･2･3前･後			2				○						1	※6
	ボランティア実習E	1･2･3前･後			1				○						1	※6
	小計（48科目）	－	－	0	128	0	－			1	0	0	0	0	29	
合計（143科目）		－	－	8	436	0	－			6	7	3	1	0	59	

学位又は称号	学士（アジア共創）	学位又は学科の分野	文学関係

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部アジア共創学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
必修科目8単位、専門教育科目の選択科目から98単位以上*、全学共通教育科目から18単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：各セメスター間24単位） なお、専門教育科目の選択科目の卒業要件98単位を超えて修得した単位は10単位を上限に全学共通教育科目へ含むことができる。 *専門教育科目の選択科目の98単位以上については、以下の要件を充たさなければならない。 ○言語コミュニケーション科目群のうち、海外留学生以外は備考※1の科目を修得し、備考※2の科目の中から1言語を修得すること。海外留学生については備考※3の科目を修得すること。 ○地域・文化科目群、グローバル社会科目群、サステナビリティ科目群の備考※4の科目の中からそれぞれの科目群で1科目以上修得すること。 備考※5：留学準備教育のための授業・留学中の学修等について単位認定を行う科目。 備考※6：国内外の就業体験やボランティア活動における学修 （事前・事後指導含む）等について単位認定を行う科目。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業の標準時間	90分

（既設学部等教育課程）

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部英語国際学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門必修科目	Introduction to Global Society Ⅰ	1前・後	○	4				○		1	1				7	
	Introduction to Global Studies Ⅰ	1前・後	○	4				○		2	6	1			3	
	Introduction to Global Communication Ⅰ	1前・後	○	4				○		2					7	
	Introduction to Global Society Ⅱ	1後	○	4				○		1					7	
	Introduction to Global Studies Ⅱ	1後	○	4				○		1	6	2			3	
	Introduction to Global Communication Ⅱ	1後	○	4				○		1					7	
	基礎中国語	1前・後	○	2				○		4	3				3	
	初級中国語	1後	○	2				○		4	3				4	
	中国語会話Ⅰ	1前・後	○	2				○		3	2		1		8	
	中国語会話Ⅱ	1後	○	2				○		1	1		1		9	
	Global Issues A	2前・後	○	4				○							4	
	Global Issues B	2前・後	○	4				○							5	
	小計（12科目）	－	－	40	0	0		－		9	11	2	1	0	28	
専門選択科目	[Field 01　グローバルスタディーズ&コミュニケーション]															
	日本語学概論	1前・後	○		4		○			1	2				6	
	Strategic Debate A	2前	○		2			○		1					2	
	Strategic Debate B	2後	○		2			○		1					1	
	Strategic Presentation A	2前	○		2			○							2	
	Strategic Presentation B	2後	○		2			○							2	
	英語文学概論	2前・後	○		4		○			1	1				1	
	英語科教育法Ⅰ	2前・後	○		4		○			1		1			3	
	日本語学A（音韻・語彙）	2前・後	○		4		○			1					5	
	日本語学B（文法）	2前・後	○		4		○			1					6	
	中級中国語	2前・後	○		2			○		1	2				4	
	資格中国語A	2前・後	○		2			○					1		1	
	資格中国語B	2前・後	○		2			○					1		1	
	Career English	3前・後	○		2			○		1					1	
	Global Synergy	3前・後	○		2			○							1	
	Interpreting Practicum	3前・後	○		2			○							8	
	Translation Practicum	3前・後	○		2			○			1				2	
	Global Business English A (Airline/Hotel)	3前・後	○		2			○							8	
	Global Business English B (Tourism)	3前・後	○		2			○							4	
	英語科教育法Ⅱ	3前・後	○		4		○			1		1			2	
	日本語教授法A	3前・後	○		4		○								5	
	日本語教授法B	3前・後	○		4		○								5	
	実務中国語	3前・後	○		2			○		1						
	日本語教育演習	4後	○		2			○							1	
	英語コミュニケーション研究A	2前・後			4		○			1						※2
	英語コミュニケーション研究B	2前・後			4		○			1						※2
	英語コミュニケーション研究C	2前・後			4		○			1						※2
	英語コミュニケーション研究D	2前・後			4		○			1						※2
	英語コミュニケーション研究E	2前・後			2		○			1						※2
	英語コミュニケーション研究F	2前・後			2		○			1						※2
	中国語研究A	2前・後			4		○			1						※2
	中国語研究B	2前・後			4		○			1						※2
	中国語研究C	2前・後			4		○			1						※2
	中国語研究D	2前・後			4		○			1						※2
	中国語研究E	2前・後			2		○			1						※2
	中国語研究F	2前・後			2		○			1						※2
	国際コミュニケーション研究A	3前・後			4		○			1						※2
	国際コミュニケーション研究B	3前・後			4		○			1						※2
	国際コミュニケーション研究C	3前・後			4		○			1						※2
	国際コミュニケーション研究D	3前・後			4		○			1						※2

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部英語国際学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門選択科目	国際コミュニケーション研究E	3前・後			2		○			1						※2
	国際コミュニケーション研究F	3前・後			2		○			1						※2
	[Field 02　グローバルリベラルアーツ]															
	リベラルアーツベーシックスA	1前	○	2				○		14	10	1				※1
	リベラルアーツベーシックスB	1後	○	2				○		14	10	1				※1
	グローバルヒストリー	2前・後	○		4		○			1					2	
	国際関係	2前・後	○		4		○				2					
	エコノミックシステムⅠ	2前・後	○		4		○				1					
	グローバリズムと企業	2前・後	○		4		○					1				
	グローバル社会とガバナンス	3前	○		4		○				1					
	戦争と平和	3前・後	○		4		○				2				2	
	エコノミックシステムⅡ	3前・後	○		4		○				2					
	グローバリズムとメディア	3前・後	○		4		○				1					
	哲学と思考	2前・後	○		4		○			1	1					
	文学と創造性	2前・後	○		4		○								1	
	芸術と感性	2前・後	○		4		○								1	
	歴史と文明	2前・後	○		4		○			1					1	
	ジャパノロジー	2前・後	○		4		○			2						
	ことばとコミュニケーション	2前・後	○		4		○			1	1					
	異文化と歴史	2前・後	○		4		○			1	1					
	エスニシティ	3前・後	○		4		○				1					
	ことばと心	3前・後	○		4		○						1			
	比較文化	3前・後	○		4		○				1					
	多文化共生	2前・後	○		4		○								1	
	SDGsスタディーズⅠ	2前・後	○		4		○				1					
	グローバルサイエンス	2前・後	○		4		○				1					
	グローバルシチズンシップ	2前・後	○		4		○								1	
	エリアスタディース	3前・後	○		4		○			2					1	
	SDGs スタディーズⅡ	3後	○		4		○								1	
	国際協力と連帯	3前・後	○		4		○				1					
	ダイバーシティと社会	3前	○		4		○								1	
	リベラルアーツセミナーⅠ	3前	○		2			○		1	2					
	リベラルアーツセミナーⅡ	3後	○		2			○		1	2					
	卒業研究Ⅰ	4前	○		2			○		21	19	4	2			
	卒業研究Ⅱ	4後	○		2			○		21	19	4	2			
	海外事情研究A	1･2･3･4前・後			4		○			1						※2
	海外事情研究B	1･2･3･4前・後			4		○			1						※2
	海外事情研究C	1･2･3･4前・後			4		○			1						※2
	海外事情研究D	1･2･3･4前・後			4		○			1						※2
	海外事情研究E	1･2･3･4前・後			2		○			1						※2
	海外事情研究F	1･2･3･4前・後			2		○			1						※2
	[Field 03　AI&デジタルコミュニケーション]															
	デジタルリテラシー	1通	○	2				○							7	※1
	現代社会とAI　Ⅰ	2前	○		2		○								1	
	現代社会とAI　Ⅱ	2後	○		2		○								1	
	データリテラシー	2前・後	○		2		○								1	
	グローバル社会と情報	2前・後	○		4		○								1	
	プログラミング	3前・後	○		4		○								1	
	デジタルメディア戦略	3後	○		4		○								1	
	デジタルコンテンツと創造性	3前	○		4		○								1	
	[Field 04　フューチャーデザイン&イノベーションスタディーズ]															
	ビジネスロジック	1前・後	○	4			○			3		1			1	※1
	現代社会とイノベーションⅠ	1前・後	○	4			○			3					1	※1
	現代社会とイノベーションⅡ	2前・後	○		4		○								1	
	マーケティング	2前・後	○		4		○			1		1			1	
	デザインプラクティス	2後	○		4		○			1						

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部英語国際学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門選択科目	フューチャーデザイン	3前・後	○		4		○								1	
	ソーシャルイノベーション	3前	○		4		○								1	
	アントレプレナーシップ	3後	○		4		○								1	
	プロジェクトセミナーⅠ	3前	○		2		○			3	1				1	
	プロジェクトセミナーⅡ	3後	○		2		○			3	1				1	
	[Field 05　グローバルキャリア]															
	キャリアデザインA	2前・後	○		2		○								1	
	エアラインビジネス	2前・後	○		4		○			1					2	
	ツーリズム	2前・後	○		4		○			1					4	
	ホテルビジネス	2前・後	○		4		○								5	
	キャリアデザインB	3前・後	○		2		○				1				1	
	ホスピタリティ	3前・後	○		4		○								4	
	[関西外大流グローバル人材育成プログラム]															
	Surveys in Literature A	2前・後	○		4		○								1	
	Surveys in Literature B	2前・後	○		4		○								1	
	Surveys in Literature C	3前・後	○		4		○								1	
	Surveys in Literature D	3前・後	○		4		○								1	
	Topics in Literature A	2前・後	○		4		○								1	
	Topics in Literature B	2前・後	○		4		○								1	
	Topics in Literature C	3前・後	○		4		○								1	
	Topics in Literature D	3前・後	○		4		○								1	
	Asian Religion and Philosophy A	2前・後	○		4		○								1	
	Asian Religion and Philosophy B	2前・後	○		4		○								1	
	Asian Religion and Philosophy C	3前・後	○		4		○								1	
	Asian Religion and Philosophy D	3前・後	○		4		○								1	
	Asian Religion and Philosophy E	3前・後	○		4		○								1	
	Asian Religion and Philosophy F	3前・後	○		4		○								1	
	History in Asia A	2前・後	○		4		○								1	
	History in Asia B	2前・後	○		4		○								1	
	History in Asia C	3前・後	○		4		○								1	
	History in Asia D	3前・後	○		4		○								1	
	History in Asia E	3前・後	○		4		○								1	
	History in Asia F	3前・後	○		4		○								1	
	Topics in History A	2前・後	○		4		○								1	
	Topics in History B	2前・後	○		4		○								1	
	Topics in History C	3前・後	○		4		○								1	
	Topics in History D	3前・後	○		4		○								1	
	Aesthetics A	2前・後	○		4		○								1	
	Aesthetics B	2前・後	○		4		○								1	
	Aesthetics C	3前・後	○		4		○								1	
	Aesthetics D	3前・後	○		4		○								1	
	Art Across Cultures A	2前・後	○		4		○								1	
	Art Across Cultures B	2前・後	○		4		○								1	
	Art Across Cultures C	3前・後	○		4		○								1	
	Art Across Cultures D	3前・後	○		4		○								1	
	Topics in Art A	2前・後	○		4		○								1	
	Topics in Art B	2前・後	○		4		○								1	
	Topics in Art C	3前・後	○		4		○								1	
	Topics in Art D	3前・後	○		4		○								1	
	Film Studies A	2前・後	○		4		○								1	
	Film Studies B	2前・後	○		4		○								1	
	Film Studies C	3前・後	○		4		○								1	
	Film Studies D	3前・後	○		4		○								1	
	Multi-Media Studies A	2前・後	○		4		○								1	
	Multi-Media Studies B	2前・後	○		4		○								1	
	Multi-Media Studies C	3前・後	○		4		○								1	

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部英語国際学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門選択科目	Multi-Media Studies D	3前・後	○		4		○								1	
	Music A	2前・後	○		4		○								1	
	Music B	2前・後	○		4		○								1	
	Music C	3前・後	○		4		○								1	
	Music D	3前・後	○		4		○								1	
	Anthropological Approaches to Cultural Issues A	2前・後	○		4		○								1	
	Anthropological Approaches to Cultural Issues B	2前・後	○		4		○								1	
	Anthropological Approaches to Cultural Issues C	3前・後	○		4		○								1	
	Anthropological Approaches to Cultural Issues D	3前・後	○		4		○								1	
	Anthropological Approaches to Cultural Issues E	3前・後	○		4		○								1	
	Anthropological Approaches to Cultural Issues F	3前・後	○		4		○								1	
	Anthropological Approaches to Cultural Issues G	3前・後	○		4		○								1	
	Anthropological Approaches to Cultural Issues H	3前・後	○		4		○								1	
	Sociology and Sociological Methods A	2前・後	○		4		○								1	
	Sociology and Sociological Methods B	2前・後	○		4		○								1	
	Sociology and Sociological Methods C	3前・後	○		4		○								1	
	Sociology and Sociological Methods D	3前・後	○		4		○								1	
	Sociology and Sociological Methods E	3前・後	○		4		○								1	
	Sociology and Sociological Methods F	3前・後	○		4		○								1	
	Cool Japan A	2前・後	○		4		○								1	
	Cool Japan B	2前・後	○		4		○								1	
	Cool Japan C	3前・後	○		4		○								1	
	Cool Japan D	3前・後	○		4		○								1	
	Cool Japan E	3前・後	○		4		○								1	
	Cool Japan F	3前・後	○		4		○								1	
	Cool Japan G	3前・後	○		4		○								1	
	Cool Japan H	3前・後	○		4		○								1	
	Cool Japan I	3前・後	○		2		○								1	
	Cool Japan J	3前・後	○		2		○								1	
	International Relations A	2前・後	○		4		○								1	
	International Relations B	2前・後	○		4		○								1	
	International Relations C	3前・後	○		4		○								1	
	International Relations D	3前・後	○		4		○								1	
	International Relations E	3前・後	○		4		○								1	
	International Relations F	3前・後	○		4		○								1	
	International Relations G	3前・後	○		4		○								1	
	International Relations H	3前・後	○		4		○								1	
	Foreign Policy A	2前・後	○		4		○								1	
	Foreign Policy B	2前・後	○		4		○								1	
	Foreign Policy C	3前・後	○		4		○								1	
	Foreign Policy D	3前・後	○		4		○								1	
	History of International Politics A	2前・後	○		4		○								1	
	History of International Politics B	2前・後	○		4		○								1	
	History of International Politics C	3前・後	○		4		○								1	
	History of International Politics D	3前・後	○		4		○								1	
	History of International Politics E	3前・後	○		4		○								1	
	History of International Politics F	3前・後	○		4		○								1	
	War and Peace A	2前・後	○		4		○								1	
	War and Peace B	2前・後	○		4		○								1	
	War and Peace C	3前・後	○		4		○								1	
	War and Peace D	3前・後	○		4		○								1	
	International Political Economy A	2前・後	○		4		○								1	
	International Political Economy B	2前・後	○		4		○								1	
	International Political Economy C	3前・後	○		4		○								1	
	International Political Economy D	3前・後	○		4		○								1	
	International Development A	2前・後	○		4		○								1	

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部英語国際学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門選択科目	International Development B	2前・後	○		4		○								1	
	International Development C	3前・後	○		4		○								1	
	International Development D	3前・後	○		4		○								1	
	International Law A	2前・後	○		4		○								1	
	International Law B	2前・後	○		4		○								1	
	International Law C	3前・後	○		4		○								1	
	International Law D	3前・後	○		4		○								1	
	Japanese Law A	2前・後	○		4		○								1	
	Japanese Law B	2前・後	○		4		○								1	
	Japanese Law C	3前・後	○		4		○								1	
	Japanese Law D	3前・後	○		4		○								1	
	Economic Theory A	1前・後	○		4		○								1	
	Economic Theory B	1前・後	○		4		○								1	
	Economic Theory C	2前・後	○		4		○								1	
	Economic Theory D	2前・後	○		4		○								1	
	Economic Theory E	3前・後	○		4		○								1	
	Economic Theory F	3前・後	○		4		○								1	
	Economic Development A	2前・後	○		4		○								1	
	Economic Development B	2前・後	○		4		○								1	
	Economic Development C	3前・後	○		4		○								1	
	Economic Development D	3前・後	○		4		○								1	
	Topics in Regional Economics A	2前・後	○		4		○								1	
	Topics in Regional Economics B	2前・後	○		4		○								1	
	Topics in Regional Economics C	3前・後	○		4		○								1	
	Topics in Regional Economics D	3前・後	○		4		○								1	
	Marketing A	1後	○		4		○								1	
	Marketing B	1後	○		4		○								1	
	Marketing C	2前・後	○		4		○								1	
	Marketing D	2前・後	○		4		○								1	
	Marketing E	3前・後	○		4		○								1	
	Marketing F	3前・後	○		4		○								1	
	Management and Leadership A	2前・後	○		4		○								1	
	Management and Leadership B	2前・後	○		4		○								1	
	Management and Leadership C	3前・後	○		4		○								1	
	Management and Leadership D	3前・後	○		4		○								1	
	Management and Leadership E	3前・後	○		4		○								1	
	Management and Leadership F	3前・後	○		4		○								1	
	Management and Leadership G	3前・後	○		4		○								1	
	Management and Leadership H	3前・後	○		4		○								1	
	International Business A	2前・後	○		4		○								1	
	International Business B	2前・後	○		4		○								1	
	International Business C	3前・後	○		4		○								1	
	International Business D	3前・後	○		4		○								1	
	International Business E	3前・後	○		4		○								1	
	International Business F	3前・後	○		4		○								1	
	Business Ethics A	1後	○		4		○								1	
	Business Ethics B	1後	○		4		○								1	
	Business Ethics C	2前・後	○		4		○								1	
	Business Ethics D	2前・後	○		4		○								1	
	Business Ethics E	3前・後	○		4		○								1	
	Business Ethics F	3前・後	○		4		○								1	
	Finance and Accounting A	1後	○		4		○								1	
	Finance and Accounting B	1後	○		4		○								1	
	Finance and Accounting C	2前・後	○		4		○								1	
	Finance and Accounting D	2前・後	○		4		○								1	
	Finance and Accounting E	3前・後	○		4		○								1	

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部英語国際学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門選択科目	Finance and Accounting F	3前・後	○		4		○								1	
	Communication A	1後	○		4		○								1	
	Communication B	1後	○		4		○								1	
	Communication C	2前・後	○		4		○								1	
	Communication D	2前・後	○		4		○								1	
	Communication E	3前・後	○		4		○								1	
	Communication F	3前・後	○		4		○								1	
	Independent Study A	4前・後	○		2			○							1	
	Independent Study B	4前・後	○		2			○							1	
	Global Internship A	3前・後	○		2				○						1	
	Global Internship B	3前・後	○		2				○						1	
	Global Internship C	3前・後	○		2				○						1	
	Global Internship D	3前・後	○		2				○						1	
	Global Internship E	3前・後	○		2				○						1	
	Global Internship F	3前・後	○		1				○						1	
	Global Internship G	3前・後	○		1				○						1	
	Japanese A	3前・後	○		5		○								17	
	Japanese B	3前・後	○		5		○								18	
	Japanese C	3前・後	○		5		○								1	
	Japanese D	3前・後	○		5		○								1	
	Japanese Reading and Writing A	3前・後	○		3		○								13	
	Japanese Reading and Writing B	3前・後	○		3		○								15	
	Japanese Reading and Writing C	3前・後	○		3		○								1	
	Japanese Reading and Writing D	3前・後	○		3		○								1	
	Japanese Reading and Writing E	3前・後	○		3		○								1	
	Japanese Reading and Writing F	3前・後	○		3		○								1	
	Japanese Reading and Writing G	3前・後	○		3		○								1	
	Japanese Reading and Writing H	3前・後	○		3		○								1	
	小計（286科目）	－	－	14	1028	0	－			21	19	4	2	0	144	
全学共通教育科目	宗教学	3前・後			4		○								2	
	哲学	3前・後			4		○				1				2	
	人権問題論	3前・後			4		○								3	
	憲法	2前・後			4		○								2	
	民法	2前・後			4		○								1	
	労働関係法	2前・後			4		○								1	
	政治学	2前・後			4		○								1	
	グローバル・アース	2前・後			4		○				1				2	
	数学	2前・後			4		○								2	
	心理学	3前・後			4		○				1				3	
	科学とくらし	3前・後			4		○								1	
	文学	3前・後			4		○								2	
	総合科目A	3前・後			4		○								3	
	総合科目B	3前・後			4		○								4	
	総合科目C	3前・後			4		○								3	
	総合科目D	3前・後・休			4		○								4	集中
	総合科目E	3前・後			4		○								2	
	総合科目F	1前・後			2		○								2	
	総合科目G	1前・後			2		○								3	
	総合科目H	1前・後			2		○								2	
	総合科目I	1後			2		○								2	
	スポーツ健康科学	3前・後			2				○		1				6	
	スペイン語Ⅰ	2前・後			2			○							7	
	スペイン語Ⅱ	2後			2			○							2	
	フランス語Ⅰ	2前・後			2			○		2					1	
	フランス語Ⅱ	2後			2			○		1						
	ドイツ語Ⅰ	2前・後			2			○							3	

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部英語国際学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
全学共通教育科目	ドイツ語Ⅱ	2後			2			○							1	
	イタリア語Ⅰ	2前・後			2			○							2	
	イタリア語Ⅱ	2後			2			○							1	
	ハングルⅠ	2前・後			2			○							12	
	ハングルⅡ	2後			2			○							6	
	ロシア語	2前・後			2			○							1	
	ポルトガル語	2前・後			2			○							1	
	デンマーク語	2前・後			2			○							1	
	スウェーデン語	2前・後			2			○							1	
	ハンガリー語	2前			2			○							1	
	フィンランド語	2休			2			○							1	集中
	アラビア語	2前			2			○							1	
	ラテン語	2前			2			○		1						
	総合実習A(インターンシップ)	1･2･3前・後			2				○	1						※3
	総合実習B(インターンシップ)	1･2･3前・後			2				○	1						※3
	総合実習C(インターンシップ)	1･2･3前・後			2				○	1						※3
	総合実習D(インターンシップ)	1･2･3前・後			2				○	1						※3
	総合実習E(インターンシップ)	1･2･3前・後			1				○	1						※3
	総合実習F(ボランティア)	1･2･3前・後			2				○	1						※3
	総合実習G(ボランティア)	1･2･3前・後			2				○	1						※3
	総合実習H(ボランティア)	1･2･3前・後			2				○	1						※3
	総合実習I(ボランティア)	1･2･3前・後			2				○	1						※3
	総合実習J(ボランティア)	1･2･3前・後			1				○	1						※3
	小計（50科目）	－	－	0	132	0		－		5	4	0	0	0	78	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育基礎論	1前・後				2	○								2	
	教職概論	1前・後				2	○			1					1	
	教育制度概論	2前・後				2	○								1	
	教育心理学	1前・後				2	○				1				1	
	特別支援教育概論	2前・後				2	○								2	
	教育課程の意義と編成	2前・後・休				1	○								2	集中
	道徳教育の理論と実践	1前・後				2	○								2	
	総合的な学習の時間の理論と実践	3前・後				1	○								1	
	特別活動の理論と実践	3前・後				2	○								1	
	教育方法の理論と実践	3前・後				2	○								1	
	ICTの活用方法と理論	3前				1	○								1	
	生徒・進路指導論	3前・後				2	○								1	
	教育相談	2前・後				2	○								1	
	教育実習Ⅰ	4通				5			○	1						
	教育実習Ⅱ	4通				3			○	1						
	教職実践演習(中･高)	4後				2		○		1						
	小計（16科目）	－	－	0	0	33		－		1	1	0	0	0	11	
図書館司書に関する科目	生涯学習概論	1前・後				2	○								1	
	図書館概論	1前・後				2	○								1	
	図書館制度・経営論	2前・後				2	○								1	
	図書館情報技術論	2前・後				2	○								1	
	図書館サービス概論	1前・後				2	○								1	
	情報サービス論	2前・後				2	○								1	
	児童サービス論	2前・後				2	○								1	
	情報サービス演習Ａ	3前・後				1		○							1	
	情報サービス演習Ｂ	3前・後				1		○							1	
	図書館情報資源概論	2前・後				2	○								1	
	情報資源組織論	1前・後				2	○								1	
	情報資源組織演習Ａ	2前・後				1		○							1	
	情報資源組織演習Ｂ	2前・後				1		○							1	
	図書館基礎特論	3前・後				1	○								2	
	図書館情報資源特論	3前・後				1	○								2	
	図書・図書館史	3休				1	○								1	集中
	小計（16科目）	－	－	0	0	25		－		0	0	0	0	0	3	

教　育　課　程　等　の　概　要

（英語国際学部英語国際学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員等の配置 基幹教員以外の教員（助手を除く）	備考
司書教諭に関する科目	学校経営と学校図書館	3前				2	○								1	
	学校図書館メディアの構成	2後				2	○								1	
	学習指導と学校図書館	3後				2	○								1	
	読書と豊かな人間性	2前				2	○								1	
	情報メディアの活用	2後				2	○								1	
	小計（5科目）	－	－	0	0	10	－			0	0	0	0	0	2	
合計（385科目）		－	－	54	1160	68	－			21	19	4	2	0	245	

学位又は称号	学士（英語国際）	学位又は学科の分野	文学関係、経済学関係

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
専門必修科目　40単位	1学年の学期区分	2学期
専門選択科目　66単位　（※）	1学期の授業期間	15週
Field 01　グローバルスタディーズ＆コミュニケーション Field 02　グローバルリベラルアーツ　44単位	1時限の授業の標準時間	90分
Field 03　AI＆デジタルコミュニケーション Field 04　フューチャーデザイン＆イノベーションスタディーズ　18単位		
Field 05　グローバルキャリア 関西外大流グローバル人材育成プログラム　4単位		
全学共通教育科目　18単位		
※：卒業要件単位66単位を超えて修得した単位数は、全学共通教育科目に充当することができる。		
備考※1：卒業までに必ず修得しなければならない科目。		
備考※2：留学準備教育のための授業・留学中の学修等について単位認定を行う科目。		
備考※3：国内外のインターンシップやボランティア活動における学修（事前・事後指導含む）等について単位認定を行う科目。		

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（英語国際学部アジア共創学科）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	Introduction to Global Studies Ⅰ	○	グローバル社会で活躍するためには、世界で通用する英語を媒介として情報収集・提供を行い、新たな考えやアイディアを発信する力が不可欠である。本科目では、特に英語による読解力の向上に焦点に当て、文法、精読・多読、語彙の学修を重点的に行っていく。また、多岐にわたる分野のアカデミックな英文を多量に読むことで、世界で活躍するために必要な語彙や表現、知識を増やし、自ら進んで新たな世界へ足を踏み入れようとする姿勢を育成する。	
	Introduction to Global Studies Ⅱ	○	Introduction to Global Studies Ⅰ で身につけた基礎読解力を強化する。英語の文法や構造を確実に理解し、語彙力をさらに強化することで、あらゆる分野・種類の英文でも読むことが可能であることを確認する。また、さまざまな英文を読むことで、その背景にある歴史や事実に興味を持ち、自ら積極的に知識を増やしていこうとする姿勢を育てることをめざす。	
	Introduction to Global Society Ⅰ	○	グローバル社会で活躍するためには、世界で通用する英語を媒介として情報収集・提供を行い、新たな考えやアイディアを発信する力が不可欠である。本科目では特にライティングの指導に焦点を当てる。まず、ブレインストーミングやマッピングなど、考えを整理する技法を修得する。その上で、アカデミック・ライティングに必要なパラグラフ・ライティングの技法を修得し、「分類」「比較と対照」「原因と結果」「意見文」など、さまざまなタイプの文章を論理的にわかりやすく書く力を育成する。	
	Introduction to Global Society Ⅱ	○	Introduction to Global Society Ⅰ で修得したパラグラフ・ライティングの技法をベースに、複数のパラグラフからなるパッセージやエッセイ、リサーチペーパーが書けるようになることをめざす。アカデミック・ライティングの手法を再確認すると同時に、引用の仕方や一次資料と二次資料の違い、推敲やエディティングの方法も学修する。また、エッセイのテーマを探す際にさまざまなジャンルの文章を読むことで批判的思考力を、わかりやすい文章を書くために論理的思考力を育成する。	
	Introduction to Global Communication Ⅰ	○	グローバル社会で活躍するためには、世界で通用する英語を媒介として情報収集・提供を行い、新たな考えやアイディアを発信する力が不可欠である。本科目では特に世界で通用するコミュニケーション能力の向上をめざす。「文法能力」「談話能力」「社会言語的能力」「方略的能力」の４つの要素を知識レベルから技能レベルにまで引き上げるために、様々なコンテクストを設定し、英語によるコミュニケーション活動を多く取り入れ、メッセージを効果的に伝える方策を身に付ける。	
	Introduction to Global Communication Ⅱ	○	Introduction to Global Communication Ⅰで修得した世界で通用するコミュニケーション能力を生かして、プレゼンテーションやディベート、ディスカッションを英語で行う。これらの準備や実践を通して、情報収集・処理能力、論理的・批判的・複眼的思考力を養う。また、自分とは違う意見や考え方をどのように理解し、いかに共存していくかを考えることを通して、刻々と変化する時代において柔軟に対応できる力を育成する。	
	Global Issues A	○	本科目は、グローバルな諸問題を取り上げ、その諸相を理解するとともに、それに対する自分の意見や考えを英語で提示していく。その過程でリーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの英語4技能の向上をめざすとともに、批判的思考力や分析力を養成する。また、プレゼンテーションやディスカッションを通して、自分の考えを論理的に説明する力を養う。本科目においては、主として芸術や歴史、生活等、文化的な面など人文科学的な側面から考察する。	
	Global Issues B	○	本科目は、グローバルな諸問題を取り上げ、その諸相を理解するとともに、それに対する自分の意見や考えを英語で提示していく。その過程でリーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの英語4技能の向上をめざすとともに、批判的思考力や分析力を養成する。また、プレゼンテーションやディスカッションを通して、自分の考えを論理的に説明する力を養う。本科目においては、主として政治、経済、時事問題など、社会科学的側面から考察する。	
	中国語Ⅰ	○	本科目は、中国語特有の声調、及び中国語表音ローマ字（ピンイン文字）を正確に発音できるまで徹底的に訓練する。また、基本的な文型や簡単な挨拶、日常生活でよく使う表現を学修し、中国語によるコミュニケーション能力の基礎を修得する。動画などを活用し、中国の文化についても紹介し理解を深める。	
	中国語Ⅱ	○	本科目は、「中国語Ⅰ」で修得した知識をもとに、ピンインと声調の正確な発音の復習、単語や会話文の発音をさらに徹底的に訓練する。自己紹介や挨拶の仕方、買い物や旅行での会話など、日常生活の表現を学修し、中国語の運用能力を高めることを目標とする。また、生活習慣や物の考え方、文化などについても触れる。動画などを活用し、中国の文化についても紹介し理解を深める。	
	韓国語Ⅰ	○	本科目は、文字と発音、さらに、助詞や用言の語形変化を体系的に教える。また多様化しつつある韓国語のニーズにこたえるべく、日本語との間にある単語や文、あるいは挨拶表現の異同を学ぶと同時に、隣国のコミュニケーションスタイル、発想方法等にも触れ、異文化の言語を学ぶ楽しさを知る。動画などを活用し、韓国の文化についても紹介し理解を深める。	
	韓国語Ⅱ	○	本科目は、「韓国語Ⅰ」で修得した知識を背景に、基礎的なコミュニケーション能力を養成する。さらに、日韓の異文化間コミュニケーションの事例等を通して異文化に接するときの心得を身につける。ハングル能力試験5級の合格、簡単な自己紹介と日常的な場面でコミュニケーションが出来る能力を修得する。動画などを活用し、韓国の文化についても紹介し理解を深める。	

授業科目の概要 （英語国際学部アジア共創学科）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	タイ語Ⅰ	○	本科目は、タイ語の入門科目である。タイ語の発音、語彙、文法、会話表現をバランス良く学修し、タイ語によるコミュニケーション能力の基礎を修得する。本科目Iでは、基本的な文型や簡単な挨拶、日常生活でよく使う表現を身につけることを目標とする。また、動画などを活用し、タイの文化や社会についても紹介し、タイについて理解を深める。	
	タイ語Ⅱ	○	本科目は、「タイ語Ⅰ」を修得した学生を対象とした科目である。タイ語の発音、語彙、文法、会話表現をバランスよく学修し、タイ語によるコミュニケーション能力を高めることを目的とする。本科目IIでは、自己紹介や挨拶の仕方、買い物や旅行での会話など、日常生活の表現を身につけることを目標とする。また、動画などを活用し、タイの文化や社会について引き続き理解を深める。	
	ベトナム語Ⅰ	○	本科目は、ベトナム語の入門科目である。ベトナム語の発音、語彙、文法、会話表現をバランス良く学修し、ベトナム語によるコミュニケーション能力の基礎を修得する。本科目Iでは、基本的な文型や簡単な挨拶、日常生活でよく使う表現を身につけることを目標とする。また、動画などを活用し、ベトナムの文化や社会についても紹介し、ベトナムについて理解を深める。	
	ベトナム語Ⅱ	○	本科目は、「ベトナム語Ⅰ」を修得した学生を対象とした科目である。ベトナム語の発音、語彙、文法、会話表現をバランスよく学修し、ベトナム語によるコミュニケーション能力を高めることを目的とする。本科目IIでは、自己紹介や挨拶の仕方、買い物や旅行での会話など、日常生活の表現を身につけることを目標とする。また、タイの文化や社会について引き続き理解を深める。	
	日本語会話Ⅰ	○	本科目は、日常生活や学習環境で必要な基本的な日本語会話能力を身につけ、コミュニケーションをスムーズに行うための基礎を築くことをめざす。日常的に使用される会話表現を学びながらリスニング力を向上させ、円滑なコミュニケーション能力を高めていく。さらに、基本的な表現や文化理解を通じて、留学生が日本語を使用したコミュニケーションをスムーズに行えるようになることを目標とする。	
	日本語会話Ⅱ	○	本科目は、「日本語会話Ⅰ」で身につけた基礎力を活かし、より高度な会話表現やコミュニケーションスキルを学ぶことで、実践的な会話の場面における円滑なコミュニケーション能力を向上させる。フラッシュストーリーやディベートを通じて実践的な会話スキルを磨くとともに、リスニング力や異文化間コミュニケーション能力を高めていく。留学生が幅広い場面で、自信を持って自然にコミュニケーションができるようになることをめざす。	
	日本語表現Ⅰ	○	本科目は、日本語で正確かつ効果的な表現能力を身につけることを目標とする。特に、ライティングスキルの向上を重視し、文章の構造や論理的な展開を理解し、自分の意見やアイデアを論理的にまとめた文章を作成する能力を養成する。さまざまなジャンルの文章に対応できる表現力を養い、自身の文章を魅力的で読みやすいものにするためのスキルを磨いていく。	
	日本語表現Ⅱ	○	本科目は、「日本語表現Ⅰ」で学んだ基礎を活かし、留学生のライティングスキルと表現力をさらに発展させることを目標とする。より高度な文章表現や論理的な論述能力の習得に重点を置き、様々な文書やテキストの作成に対応できる力を育成する。複雑なトピックやテーマに対して論理的な論述や主張を行う能力を向上させ、エッセイやレポートなど、さまざまなジャンルやスタイルの文章を作成する能力を身に付けるための授業である。	
	日本語読解Ⅰ	○	本科目は、基礎的な日本語の読解力を向上させるための授業である。短い文章やパラグラフを読み、主旨や詳細を正確に把握する能力を向上させ、基本的な日本語読解力の基盤を築く。また、読解に必要な基本的な語彙を増やし、文脈から意味を推測する能力を養う。さらに、テキストの文化的な背景や状況を理解し、テキストをより深く読み解く能力を磨く。読解の手法やテキストの構造に関する解説を通じて、効果的な読解方法を学んでいく。	
	日本語読解Ⅱ	○	本科目は、「日本語読解Ⅰ」で身につけた基礎的な読解力を更に発展させることをめざす。複雑なテキストの読解力を向上させ、専門的な語彙や文学的な表現、文化的な背景を理解する能力を育成する。文章の文脈や論理的なつながりを理解し、効果的な読解の手法を習得するとともに、重要な情報を抽出する能力を発展させる。多様なテキストに触れながら、文章をより深く理解し、情報を適切に解釈するスキルを磨いていく。	
	日本語総合Ⅰ	○	本科目は、「日本語会話Ⅰ」や「日本語表現Ⅰ」で学んだ知識やスキルを統合し、総合的な日本語力を身につけることを目指す。グループでのプロジェクトワークを通じて、日本における社会問題や文化に関する調査・考察を行い、その結果をプレゼンテーションやレポート作成を通してアウトプットすることで、表現力やコミュニケーション能力を養成する。日本語能力試験N1の取得を目指す学生を対象にした、高度な日本語コミュニケーションスキルを磨くための授業である。	
	日本語総合Ⅱ	○	本科目は、「日本語総合Ⅰ」で身につけた高度な日本語コミュニケーションスキルをさらに発展させるための授業である。日本語能力試験N1の合格を目標に、経済、政治、科学技術、芸術、環境などの専門分野における日本語表現力を強化し、それらを日常会話や論文で適切に使用できるようになることをめざす。実社会において実践的なコミュニケーション能力を向上させるためのプロジェクトワークを実施し、社会的課題へのアプローチを通じて、実践的な日本語力を養成する。	

授業科目の概要 （英語国際学部アジア共創学科）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	ビジネス日本語Ⅰ	○	本科目は、ビジネスコミュニケーションに特化した日本語の習得をめざす。基礎的なビジネス日本語の表現やコミュニケーションスキルの向上を重視し、留学生が日本でのビジネス環境で効果的にコミュニケーションを図る能力を身につける。基礎的なビジネス日本語の表現やビジネス文書の作成方法を学び、留学生が日本でのビジネス環境で自信を持ってコミュニケーションをとれるようになることを目標とする。	
	ビジネス日本語Ⅱ	○	「ビジネス日本語Ⅰ」を基盤として、より高度なビジネスコミュニケーションスキルの習得をめざす。ビジネス上のコミュニケーション課題に対処するための表現力や文化理解を深め、実践的なビジネス環境でのコミュニケーション能力を向上させる。より複雑なビジネス文書の作成や高度なコミュニケーションシナリオに対応するために必要な表現力と文化理解を強化する。	
	アカデミック日本語Ⅰ	○	本科目は、留学生がより高度な日本語力を身につけ、学術的な文書や論文の読解および執筆能力を向上させることをめざす。大学の学術環境での活動に適応できる基盤を築くため、正確かつ論理的な表現能力を育成する。具体的なアカデミックな表現能力の基礎を学び、読解力と論文執筆能力を養うとともに、学術的な表現力の習得をめざす。例文や実践的な演習を通じて、留学生が自信を持って日本語を使用し、学術的な文書や論文を理解し、自ら執筆する能力を向上させることを目標とする。	
	アカデミック日本語Ⅱ	○	本科目は、留学生の読解力と論文執筆能力を更に向上させることをめざす。前提となる基礎知識を活かしながら、学術的な文書や専門的な論文を批評的に読み解き、自身の研究に関する論文の設計と執筆に取り組む機会を提供する。また、学術的なディスカッションに積極的に参加し、自分の意見を的確に表現する力を育成する。本授業は、高度な学術的な表現力と批評的な思考能力を発展させることを目標とする。	
	Strategic Debate Ａ	○	本科目は、ディベートの準備・実践を通して領域統合型の言語活動に取り組み、英語運用能力の向上をめざす。議論を組み立てるためには、主体的にリサーチし、批判的に文献を読み、自ら問題を分析し、解決策を練り、説得的に伝えることが必要となる。こうした活動により、論理的・批判的思考力、リサーチ力、表現力を育成する。また、ディベートの実践を通して、批判的に聴く力も養う。ディベートのテーマには、私たちが生活していくうえで遭遇する身近な問題を取り上げる。	
	Strategic Debate Ｂ	○	本科目は、ディベートの準備・実践を通して領域統合型の言語活動に取り組み、英語運用能力の向上をめざす。議論を組み立てるためには、主体的にリサーチし、批判的に文献を読み、自ら問題を分析し、解決策を練り、説得的に伝えることが必要となる。こうした活動により、論理的・批判的思考力、リサーチ力、表現力を育成する。また、ディベートの実践を通して、批判的に聴く力も養う。社会問題や時事問題などをディベートのテーマに取り上げる。	
	Strategic Presentation Ａ	○	本科目は、スピーチやプレゼンテーションの基礎を学修するとともに、英語の4技能を向上させることをめざす。聞き手に提言・提案を効果的に伝え納得してもらえるよう、論理的で分かりやすい原稿作成方法やポイントが伝わるスライド作成技術を身につける。また、ジェスチャーやアイコンタクト、声のトーンなど、効果的なデリバリースキルも修得する。プレゼンテーションのテーマには、私たちが生活していくうえで遭遇する身近な問題を取り上げる。	
	Strategic Presentation Ｂ	○	本科目は、スピーチやプレゼンテーションの基礎を学修するとともに、英語の4技能を向上させることをめざす。聞き手に提言・提案を効果的に伝え納得してもらえるよう、論理的で分かりやすい原稿作成方法やポイントが伝わるスライド作成技術を身につける。また、ジェスチャーやアイコンタクト、声のトーンなど、効果的なデリバリースキルも修得する。プレゼンテーションのテーマには、社会問題や時事問題などを取り上げる。	
	国際コミュニケーション研究Ａ		本科目は、留学先大学におけるコミュニケーション科目の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学においてコミュニケーション科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「国際コミュニケーション研究Ａ」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	国際コミュニケーション研究Ｂ		本科目は、留学先大学におけるコミュニケーション科目の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学においてコミュニケーション科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「国際コミュニケーション研究Ｂ」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	国際コミュニケーション研究Ｃ		本科目は、留学先大学におけるコミュニケーション科目の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学においてコミュニケーション科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「国際コミュニケーション研究Ｃ」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	国際コミュニケーション研究Ｄ		本科目は、留学先大学におけるコミュニケーション科目の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学においてコミュニケーション科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「国際コミュニケーション研究Ｄ」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	

授　業　科　目　の　概　要 （英語国際学部アジア共創学科）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	ジャパノロジー	○	本科目は、日本に関する総合的な学問領域である「日本学」についての入門的な授業である。日本の歴史、文化、社会、言語、芸術など、日本に関する多岐にわたる分野を幅広く理解し、日本の特性と多様性を把握する。日本が抱える様々な課題や文化的背景を探求し、また、異なる視点から日本を見ることで、異文化理解や国際的な視野を養成することをめざす。	
	日本の文学	○	本科目は、日本の文学の魅力に触れながら、日本文学の歴史や作品の背後にある文化的背景を理解する。日本の文学作品を通じて、文学と文化の関係性、作品が社会に与える影響や意味について考察していく。さまざまな文学作品を読み解きながら、日本の文学と文化の結びつきを深く理解することで、作品が持つ社会的な意味や影響力について考えていく。	
	日本の現代文化	○	本科目は、音楽、映画、アニメ、マンガ、ファッション、テレビドラマ、ビデオゲームなど、日本のポップカルチャーについて広く学び、その文化的な意味や社会的なインパクトについて理解する。ポップカルチャーの背後にある日本社会の価値観や歴史、技術の進化などの要素を学び、日本のポップカルチャーが持つ魅力の根源を分析する。授業では、具体的な事例や分析を通じて、ポップカルチャーの多様性や魅力を探求していく。	
	アジアの現代文化	○	本科目は、アジア地域における現代文化ポップカルチャー（映画、楽曲、ファッション等）を扱い、各国のポップカルチャーが相互に与える影響を社会学的観点から考察する。プレゼンテーションやディスカッションを通して、ポップカルチャーが人々にどのような効果をもたらし、相互交流にどのような影響を与えているかについて考察、発表できる力を身につける。	
	日本の伝統文化	○	本科目は、歌舞伎、能、茶道、華道、書道、着物、祭り、仏教、禅など、日本の伝統的な文化活動と精神文化について学び、異文化理解を深めることを目的とする。授業を通じてこれらの伝統文化を体験し、その背景や意義について学ぶ。また、日本の伝統文化が日本文化においてどのような役割を果たしてきたのかについても考察し、日本人の生活や文化をより深く理解することをめざす。	
	アジアの伝統文化	○	本科目は、アジア地域における伝統文化（芸術・哲学・宗教等）について学び、その背後にある思想や美学について理解を深める。本授業を通して、アジアの伝統文化を次世代にどのように継承すればよいのか、さらに、各国の誇るべき伝統文化を通じて、各国の交流をどのように促進していけばよいかなど、その方法論についても考えを深める。	
	アジア交流史	○	本科目は、アジアにおける異なる文化・民族・国家間の交流の歴史について学ぶ。受講生は、アジアの地理と環境の特徴、古代アジアの文明と交流の相互影響関係、シルクロードと東西交流、イスラム文化のアジアへの伝播などについて理解を深めることを目的とする。アジアと日本の交流史についても学修し、日本の文化社会の成立ににアジアが大きく関わっている点を理解する。	
	日本の文明と歴史	○	本科目は、歴史の観点から日本の文化、日本人の特性について深く考察する。日本列島における人類史の起源に遡りながら、日本国の成立過程、それが育まれた背景や要因などを学び、日本という国や文明の基層について適切に理解する。また、中世や近世にも視点を伸ばし、広く日本文化の独自性、価値観、精神風土について理解する。	
	日本の社会	○	本科目は、日本の社会について包括的に理解することを目的とする。日本は歴史的な背景や文化的要素によって特徴づけられる独自の社会システムを持っている。本講義では、日本の社会に影響を与える主要な要因や現代の社会的課題、文化的な側面などに焦点を当て、広範な視点から日本の社会について理解を深めていく。さまざまなトピックを通じて、日本の伝統と現代の複雑な社会的構造を探求し、日本の個別性と独自性を理解することをめざす。	
	日本のホスピタリティ	○	本科目は、世界から注目される日本固有の「おもてなし」文化について考察する。多くの事例を取り上げながら、「おもてなし」文化がどのようにして生まれたのか、日本ではなぜそこまで「おもてなし」を行うのか、日本人の精神風土のもとにある歴史や民族特性、思考様式や価値観などを分析するとともに、その課題についても考察する。	
	日本の地域と観光	○	本科目は、日本の多彩な地域の特性、自然や風土、伝統文化や生活様式を学ぶとともに、その観光資源のありようを理解する。また、日本の地域の活性化を図る上で観光がどのような役割を果たしているのかを概観するとともに、今後の可能性について考察する。様々な地域での取り組みの事例を取り上げ、事業としての観光の今後のあるべき姿についても多様な視点から再考する。	
	アジアの地域と観光	○	本科目は、アジア地域における多様な観光資源、文化遺産、観光業の発展等について広く学修する。受講生は、アジアの自然環境にもとづく風土、地理、文化、歴史にまつわる観光資源についての基礎知識を学び、東アジア、東南アジア、中央アジア、西アジア等におけるツーリズムの発展や、ビジネスとしての可能性、持続可能な観光の重要性について考察する。	
	国際関係論	○	本科目は、国際関係科目の導入科目である。近現代における国際関係の主要な動向に関する議論を軸に、安全保障問題、国家間関係、国際機関、世界各地域の情勢、グローバリゼーション、南北問題などについて考える力を育てる。適宜、最新の国際政治に関するニュースに触れながら、受講者の関心を高めたり、視野を広げたりすることを目的とする。	

授　業　科　目　の　概　要 （英語国際学部アジア共創学科）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	人間の安全保障	○	本科目は、1990年代に提唱された「人間の安全保障」について理解を深める。複雑化する現代の世界においては、紛争、貧困、飢餓、環境破壊、疾病などにより、人々の生存や人権が脅かされる状況があとを絶たず、大きな国際問題となっている。授業では、このような脅威の現状を理解するとともに、課題の解決のあり方について考察し、探求を行うことを目的とする。	
	アジアの国際関係	○	本科目は、アジア地域における政治体制、国際関係、外交政策等について学ぶ。アジアは地理的にも政治的にも多様な地域であるため、国家間の関係や安全保障の課題について理解を深める。アジア地域における政治と外交の重要な問題や地域の安定と発展に関わる要素を考慮しながら、アジアの国家間の関係を分析し、アジアの地域協力や持続可能な安全保障に関して考察を深める。	
	アジアの紛争と平和構築	○	本科目は、アジアにおける安全保障問題について概観する。どうして紛争が起こるのか、どうすれば平和が維持・実現できるのだろうか。現在、アジアの国家間でさまざまな軋轢、紛争が生じているが、その原因を分析するとともに、平和構築のあり方について多様な視点から学修する。授業では、国際政治のみならず、国際連合による平和維持活動や、NPO・NGOなど、さまざまな事例を紹介しながら考察する。	
	経済学	○	本科目は、経済学の基礎を学ぶ。経済とは何か、需要と供給の関係、市場と価格、個人と企業の経済行動など、社会人として心得ておくべき一般常識としての経済の知識、また、経済学的な思考方法の基本を習得する。授業では、具体的な事例も紹介しながら、身の回りのさまざまな現象を捉え、実社会を動かしている基本的な原理を理解する。	
	日本の政治と経済	○	本科目は、日本の政治・経済について広く学修する。国政における意思決定のあり方、選挙制度、政治風土や文化、国民の政治意識や政治参加を理解するとともに、経済や産業のシステム、ビジネス習慣、企業文化などについて多角的に学修する。日本の政治経済の特質を浮彫りにし、グローバルな視点から日本の政治経済の課題と展望について考察する。	
	アジアの開発と経済	○	本科目は、アジア地域における国際開発ならびに国際協力のあり方について学修する。途上国における貧困、食糧、環境などの問題を概観するとともに、日本による政府開発援助（ODA）や国際NGOなどの国際協力機関の取り組みを理解し、アジアにおける経済開発、社会開発、人間開発の現状と課題について、数多くの事例にもとづき検証と考察を行う。	
	経営学	○	本科目は、経営学の基礎を学ぶ。社会における企業の存在意義、企業活動とその戦略、企業の組織などについて学び、ビジネスとは何か、マネージメントとは何か、その基本的な理解を行う。身近な企業を例にあげ、その経営活動や戦略なども示しながら、実社会のビジネスの現場で基盤となる知識、社会人として求められる基礎的な教養を習得することをめざす。	
	マーケティング	○	本科目は、企業が顧客との関係を創造し維持するための手法であるマーケティングについて、企業活動とその戦略について学ぶ。マーケティングに関する基礎的な理論や手法について考察するが、特に、市場での実践例、商品やブランド開発の具体例を紹介することにより、マーケティング的思考の基礎を獲得する。	
	アジアのビジネス	○	本科目は、アジア地域におけるビジネス環境、市場の特徴、文化的要素といった基礎知識を学修する。その上で、日本企業のアジア市場への参入戦略の立案や市場選択の考え方について、具体的な事例を紹介しながら考察する。受講生は、プレゼンテーションやディスカッションを通して、具体的なビジネスモデルを考案し、発表する。	
	デジタルリテラシー	○	本科目は、コンピューターのメカニズムやインターネットの仕組みなど、デジタル技術に関する基礎知識を習得する。その上で、情報化社会に対応し得る情報処理方法について幅広く学習する。春学期は、タイピング練習によってキーボード入力のスピードと正確さをトレーニングし、それをベースにWordを習得する。また、インターネットの利用や電子メールの作成、PowerPointについても学習する。秋学期は、表計算ソフトExcelを使用し、表やグラフの作成、データベースの活用法を習得する。企業などにおける複雑なデータ処理につながる技能を身につける。	
	キャリアデザインＡ	○	本科目は、講義と演習を通して将来のライフキャリアを考える機会を提供し、人生をデザインする手法を学習することを目的とする。「人生の目標・夢は？」、「働く意味は？」、「大学での学びとキャリアの関係は？」、「自分とはどの様な人間？」など、学生自らが深く考え、教員のガイディングの下で、大学生活の過ごし方や、将来の人生やワークキャリアを考えるための基礎知識を修得する。	
	キャリアデザインＢ	○	本科目は、ワークキャリアを考える機会を提供し、社会の産業構造について理解を深めながら論理的思考力を研鑽し、卒業後の進路を見定めることを目的とする。講義を通じて様々な業界・企業・職種について学習することで実社会にたいする視野を広め、「キャリアデザインＡ」の授業で見極めた自分の志向や適正と照らし合わせながら、幅広い職業選択の中で進むべきワークキャリアを見定める。	
	SDGsスタディーズ	○	本科目は、2015年に国連によって採択されたSDGs「持続可能な開発目標」について学ぶ。SDGsは、地球上に山積する課題に対し、その解決に向けて世界の転換をめざすものである。「誰一人取り残さない」という理念のもと、国家、企業、組織のみならず、一人一人の個人も取り組むべき「全人類共通の目標」として定められている。授業では、SDGsの理念、採択までのプロセスを概観し、SDGsを構成する17のゴールと169のターゲットについて理解を深める。	

授業科目の概要 （英語国際学部アジア共創学科）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	多文化共生論	○	21世紀は「国際移民の時代」といわれる。本科目では、SDGsにおいても目標とされる社会的包摂(インクルージョン) のあり方について理解を深める。社会的包摂とは、国籍や民族の異なる人々の権利や利益が尊重され、地域や社会の構成員としてともに助け合い、平和に生活することである。多文化共生の先進国の事例を紹介しながら、共生社会のあるべき姿、実現に向けた政策について考察する。	
	地球環境と社会	○	本科目は、地球環境の問題について科学的な視点から学ぶとともに、環境破壊が社会に及ぼす影響について理解する。また、国際社会がこの問題に対してこれまでどのような対応をしてきたのか概観し、その上で依然として残る課題と各国の政策事例について考察する。SDGsのもと、国家レベルの取り組みだけでなく、企業や市民レベルの動きについても広く可能性と課題を検討する。	
	サステナブルツーリズム	○	本科目は、新しい観光のあり方であるサステナブルツーリズムについて学修する。現在世界では、エコツーリズムやグリーンツーリズムなど、自然環境や地域文化、地域コミュニティとの共生をめざす持続可能な観光が広がりつつある。授業では、現場での取り組み事例も数多く取り上げながら、新たなツーリズムの理念や手法を学修し、今後の可能性について広い観点から考察を行う。	
	現代社会とイノベーション	○	本科目は、イノベーションとは何か、イノベーションによって社会がどのように変わるのか概観する。イノベーションの定義、歴史を学修し、今なぜイノベーションが必要なのか、イノベーションをには何が必要なのか理解する。 世界をリードする企業のビジネスモデルを考察しながら、自らが将来、ゲームチェンジャーとして活躍するための素養を身につける。	
	アントレプレナー論	○	激動の現代においては、時代の変化に対応して新たな価値の創出や事業創造を行うことのできる人材の存在は非常に重要である。その社会的意義を理解するとともに、代表的な創業者や企業家について学ぶ。さらには、企業・起業家精神とは何か、どのような資質や能力、知識やスリルが必要なのか概説する。同時に、実際に起業するために必要となるビジネスの知識、起業プロセスや方法論についても理解する。	
	ソーシャルビジネス	○	本科目は、イノベーションの力により、社会問題の解決をしつつ利益を生み出す持続可能なビジネスの形としてのソーシャルビジネスについて学ぶ。ソーシャルビジネスは今後の経済の中核を成し、巨大な市場をもたらすことが予想されている。授業では、ソーシャルビジネスが必要とされている時代的な背景と、世界で進む様々な成功事例を取り上げながら、ソーシャルビジネスの課題と可能性について広く探求を行う。	
	アジア地政学Ａ	○	本科目は、アジア大陸内および周辺地域における地理的要因が政治的・経済的な関係や国際情勢に与える影響について学ぶ。受講生はアジア各国の地理的条件や地形、河川、海洋などが地域の政治的・経済的な関係に与える影響について考察し、地政学の視点から地域の安定、持続可能な発展、国際協力のあり方について考察し、プレゼンテーションを行う。	
	アジア地政学Ｂ	○	本科目は、地政学の基礎的な知識に基づいて、アジアにおける現代の様々な国際問題について分析を行う。海洋国家日本にとって地政学が持つ政策上の意義と、地政学の観点から見たアジア諸国との関係構築について展望する。学期末には各グループで分析や考察を深めた上でプレゼンテーションを行う。	
	アジア共創基礎演習Ａ	○	本科目は、急速に変化するグローバル社会において直面する様々な問題に対し、あらゆる角度から他者と協力して対応できる力を育むことをめざす。その第一段階として、まず自ら積極的に学び、問題を発見して探求する姿勢を養う。そして情報が氾濫するこの現代社会において、情報を正確に理解すると同時に必要な情報を取捨選択し、それに対する自分の考えや評価を提示できるように論理的・批判的思考力を鍛えていく。	
	アジア共創基礎演習Ｂ	○	本科目は、グローバル・アジアの社会課題の解決に寄与できる人材を育成するために、正解のない問いに向き合い、最適解を見出していく力を育むことをめざす。また、一方的に意見を述べるのではなく、ディスカッションやディベートを通して異なる意見とも向き合い、多様な価値観を横断する知性を養っていく。グループで課題解決のプロセスを経験することで、コミュニケーション力、リサーチ力、チームワーク力を磨く。	
	海外事情研究Ａ		本科目は、留学先大学における人文科学系の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において人文・社会科学系の科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究Ａ」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	海外事情研究Ｂ		本科目は、留学先大学における人文科学系の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において人文・社会科学系の科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究Ｂ」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	海外事情研究Ｃ		本科目は、留学先大学における人文科学系の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において人文・社会科学系の科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究Ｃ」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	海外事情研究Ｄ		本科目は、留学先大学における人文科学系の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において人文・社会科学系の科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究Ｄ」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	

授業科目の概要 （英語国際学部アジア共創学科）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	アジア共創セミナーⅠ	○	本科目は、ゼミナール形式の授業である。アジアや日本の課題について、学生が協働して主体的に研究を進める。授業では、①学生自ら課題を発見し、②客観的な研究手法により課題を探求すること、さらには、③ディスカッション等を通して論理的思考力や批判的思考力を錬磨する。最終的には、④取り組んだ研究成果をプレゼンテーションとして取りまとめる。本科目では、上記①および②を扱う。	
	アジア共創セミナーⅡ	○	本科目は、ゼミナール形式の授業である。アジアや日本の課題について、学生が協働して主体的に研究を進める。授業では、①学生自ら課題を発見し、②客観的な研究手法により課題を探求すること、さらには、③ディスカッション等を通して論理的思考力や批判的思考力を錬磨する。最終的には、④取り組んだ研究成果をプレゼンテーションとして取りまとめる。本科目では、上記③および④を扱う。	
	アジア共創キャップ・ストーンⅠ	○	本科目は、担当教員の指導のもと、アジアや日本の課題をテーマとして、学生が協働して学際的に研究活動を行い、その成果を4年間の学修の集大成として論文、プロジェクトなどの形で取りまとめるものである。本科目では、主に課題発見にもとづく研究テーマの設定、課題の分析、フィールド等によるリサーチ、ディスカッション等を通して、課題の解決に必要なプロセスを遂行する。	
	アジア共創キャップ・ストーンⅡ	○	本科目は、担当教員の指導のもと、アジアや日本の課題をテーマとして、学生が協働して学際的に研究活動を行い、その成果を4年間の学修の集大成として論文、プロジェクトなどの形で取りまとめるものである。本科目では、「アジア共創キャップストーンⅠ」での学修にもどづき、その研究成果をアジア共創学科での４年間の学びの集大成として、論文、プロジェクトなどの形で取りまとめるものである。	
	異文化と歴史		人間の文化はどのようにして形成され、発展し、現在に至っているのか。本科目では思想・芸術・文芸に限らず、政治・社会・宗教、慣習や日常生活を含む人間の活動の総体を文化と捉えつつ、世界に存在する主要な文化を対象に通時的な探究を行う。文化の形成過程、その途上で生じた文化の交流や対立を学ぶことで、異文化に対するより深い理解を行う。歴史に対する認識を深め、歴史の観点から現象を捉えられるようになることも本科目の目的のひとつである。	
	ことばとコミュニケーション		本科目は、音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論・語用論における基本概念を検討し、言語学的・英語学的見地から、ことばの本質とはどのようなものかを理解することを目的とする。具体的には、調音法、アクセント、語形成、文の種類、語・文の意味、意味変化、発話行為、会話の含意、などを検討する。また、社会言語学などの言語学関連分野に関しても考察を加える。言語観や言語理念の理解、言語データの分析に終始するのではなく、総合的な言語運用力の向上を目標とした授業活動も行う。	
	エリアスタディーズ		本科目は、さまざまな地域の文化形態を通時的・共時的に比較対照することで、それぞれの文化の固有性と人間の文化の多様性・相対性について学習する。異文化に関する知識と正しい認識、異文化を理解し柔軟に対応できる能力を身につけることで、グローバル人材として求められる資質を高める。同時に、他国の文化を知ることにより、自国である日本の文化に対する理解をも深める。	
	教育心理学		本科目は、教育の対象となる児童・生徒の心の理解と教育実践のための指導法を探求する学問であるが、ひいては生涯にわたる人間理解を求める「生き方の心理学」である。本科目は人間を理解し、より良い方向に導くために必要な基礎的知識・方法を身につけることを目標とする。人間理解のために必要な知識として、基礎的領域では記憶・学習・動機づけ・発達、分析手法を含むパーソナリティ・創造性・知能、そして問題行動の理解につながる不適応行動等について詳説する。その後、教育実践に必要な集団心理の要件及び指導法を説明する。	
	教職概論		本科目は、教職の意義・教員養成と採用・教員の研修・教員の職務と専門性等について総合的に学習する。新しい時代における教育の基本的な考え方を学ぶとともに、教員に求められる資質・能力、教員としての業務、専門性等についての基礎的な知識について講義を行う。本科目を通じて教職について理解を深め、教育基本法の改正、学習指導要領の改訂など変化の激しい時代、これからの教育を担う者として、ふさわしい資質・能力を身につけることを目標とする。	
	教育制度概論		本科目は、我が国の教育制度の歴史、現在の教育制度の課題や改善策等について理解を深め、学校教育制度に関する様々な問題について、各自が自分の意見をまとめ口頭及び文書で発表する力を身に付けることを目標とする。教育改革が急展開している今日、学校教育に係る政策がどのような意味を持つのか知らなければ、生徒の教育をつかさどる立場にある教員としての職責を果たすことができない。そこで、教育制度の基本的な事項と最近の教育改革の内容を講義する。	
	教育方法の理論と実践		本科目は、教材探し、教材づくりの方法や教育機器及びメディアの活用について実践を行う。同時に学習指導要領の趣旨を徹底できるよう、教育実習を視野に入れ、「授業」を行うに当たって必要となる心構え、技術や態度等具体的な場面を想定して実践的な指導力の基礎を身につける。学生間の共同作業、授業計画、教材研究、模擬授業、テストづくりや評価等を繰り返し演習し、必要な資質の向上を図る。	
	生徒・進路指導論		生徒・進路指導は学校教育において、教科指導をはじめあらゆる教育活動の根幹をなしている。そのため、近年教育現場では優れた生徒指導力をもつ教師を求めている。本科目では、生徒指導の理論と方法を理解するとともに、今日の学校教育における生徒指導上の主要な課題とそれらの解決の方策について考察する。さらに、教師に必要なコーチングの基礎について学ぶ。	
	教育相談		学校現場において様々な問題が多発している中で、すべての生徒が意欲的に学校生活を過ごせるよう、また、一人の人間としての人格形成を促し、自己実現に向かって成長していけるよう援助していくことが教師が求められている。本講義では、教育相談の理論とともに、事例研究や、グループ・ワーク、ロール・プレイなどの演習を通してカウンセリングの基礎を学習する。また、「不登校」、「いじめ」や「反社会的問題行動」などについて学校教育現場の状況を把握しつつ、グループで研究発表を行う。	

授　業　科　目　の　概　要 （英語国際学部アジア共創学科）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	日本語学概論		外国語の習得をめざす際、まずは母語である日本語に対する理解が不可欠である。本科目は、日本語とはどのような言語であるのか、その構造の全体像について学習する。特に現代日本語について、音声・文字・語彙・文法・文体・方言等の諸側面から、そのあり様を概説し、日本語学の基礎知識を習得する。同時に、各自が正しい日本語を認識し、使えるようになることも目標とする。	
	日本語学Ａ（音韻・語彙）		本科目は、日本語における音声と語彙について、より深い知識を獲得し、現代に表れた具体的な言語事象について、分析・考察・内省の三つの能力を養うことを目標とする。ここにいう音韻（音声）は、現代日本語の音韻的特徴であり、語彙は、現代日本語を成り立たせている語種・伝相語・敬語などをいう。これらの能力は、日本語教員養成課程において必要とされるだけでなく、仕事や家庭といった社会全般における言語生活の上でも、大切な力となる。	
	日本語学Ｂ（文法）		本科目は、日本語における文法について、より深い知識を獲得し、現代に表れた具体的な言語事象について、分析・考察・内省し、より高い表現の能力を養うことを目標とする。日常に散見するさまざまな文の用例を通して、日本語の文の基本的な法則を見つけだしていく。その気づきは、日本語教育においても生かされるものであり、また、社会全般における言語生活の上でも、大切な力となる。	
	日本語教授法Ａ		本科目は、「日本語学概論」および「日本語学Ａ」で得た知識を基盤にして、日本語教育のカリキュラム作成をはじめとして、実践的な教授法を学ぶことを目標とする。本科目では、第二言語習得に関する理論的研究や様々な教授法を学び、より効果的な日本語教育をめざす。また、既存の日本語教授法や教材を調べ、実際の授業運営における問題点を踏まえながら、教材選定や教案作成といった実際の作業を通じて教授法の基盤を形成する。	
	日本語教授法Ｂ		本科目は、日本語学概論、日本語学Ａ、日本語学Ｂ、日本語教授法Ａで得た知識を基に、日本語教育のカリキュラムをはじめとして、実践的でより発展的な教授法を学ぶことを目標とする。特にコースデザインの方法、具体的な練習や教材作成を検討する。また、実践的な教授技術を習得するために、模擬授業を行い、その問題点について考察しながら、どのようにすればより効果的な授業が構築できるのかを考える。	
	日本語教育演習		本科目は、外国語としての日本語教育の授業を研究し、そのティーチングスタイルを身に付けつつ、修得した日本語の知識や理論を応用して実践力を向上させる。また、教師としての資質向上を目指し、授業構成力、教材研究・開発能力や日本語指導力の向上を図り、日本語教育の課題解決能力を身に付けることを目標とする。	
全学共通教育科目	宗教学		本科目は、人間にとってきわめて重要な宗教現象について、客観的で歴史とエビデンスにもとづいた理解を深めることを目標とする。厳密な意味での宗教学は神学でも護教的な学問でもなく、19世紀後半にヨーロッパで始まった、経験科学的に宗教現象を探究する学問である。多様な宗教を対象とし、比較宗教学・宗教現象学・宗教人類学・宗教社会学・宗教心理学などのアプローチがある。	
	哲学		本科目は、思想の歴史をさかのぼり、人間や世界に対するさまざまな思想を紹介するとともに、哲学的にものを捉える力、いいかえれば偏見に左右されず論理的にものを考える力を修得する。	
	人権問題論		本科目は、性差別、人種差別、障碍者差別、部落差別、民族差別などに加え、児童労働、環境問題と差別、戦争と人権などを取り上げる。さまざまな差別の実態を知り、人権の尊重、差別の克服について考察する。人権という観点から世界を捉え直し、偏見に支配されない公正な思考力と世界観の修得をめざす。	
	憲法		本科目は、日本国憲法に関する基礎的な法解釈論を習得すること、リーガルマインド、法的思考力、客観的思考力を養うことを目標とする。「基本的人権」に関する事項が中心となるが、各人権内容の概説にとどまらず、判例や裁判例を用いることにより判例法による理論の構築をめざす。初等中等教育に関する憲法問題についても学ぶ。	
	民法		本科目は、法律学を学んだことのない学生も理解できるように、具体的な問題を通じて民法の全体像を概観する。民法は私たちの生活に関する最も基本的な法律で、取り扱う問題の多くは、私たちの生活に身近なものである。例えば、ネット通販で起こるトラブルの解決策、事実婚と正式な婚姻の法律上の違いなど、身近な問題を通じて民法がどのようなルールを定めているのかを明らかにする。	
	労働関係法		本科目は、労働関係法の基礎知識について、企業や官庁などにたずさわる人々の間に起こる争いごとの解決方法、さらに、企業などにおける働き方を制度化するためのルールなどについて学習する。また、実際の社会生活において起こり得る様々な事象を、法的知識に基づいて的確に判断し、行動するための能力を養成する。	
	政治学		本科目は、政治学の基本的な概念に基づいて現代日本政治の理論について学習する。具体的には、政策がどのようなイシューとして設定され、どのようなアクターと影響力の下で、政府や国会において立案・決定されるのか、また政党はどのような役割を持つのかを政治学の手法を用いて理論的・実証的に分析する。	
	グローバル・アース		本科目は、近年、地球規模の環境問題などを受け、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが進められている。しかし、「地球市民」として運命共同体であることの意識はまだ薄く、世界では紛争が後を絶たず、貧富の格差も広がっている。本科目では、地球と多様な生物について幅広く教え、「地球市民」の一員としての理解を深めるとともに、多様な環境問題に積極的に取り組む姿勢を育む。	

授業科目の概要 （英語国際学部アジア共創学科）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
全学共通教育科目	数学		本科目は、数学の楽しさや数理的処理の便利さを実感させ、数学と日常生活の関わりの深さについて理解を深め、日常生活での様々な事象に対して数学的な見方や考え方を適用する力を修得する。小学校における「算数」と中学校以降の「数学」との接続を意識した演習、さらに教員採用やSPIにも対応できるよう、確かな数学の基礎力を育む。	
	心理学		本科目では、人間の理解に必要な基礎的心理学（感覚・知覚・記憶・情報処理・学習・思考・言語など）と、実際の生活場面での心理学（臨床心理学・社会心理学・対人コミュニケーションなど）について学ぶ。講義においては過去の心理学研究の紹介だけにとどまらず、具体的問題の体験を通して“こころ”とは何かについても考える。心理学の基本的な知識を習得することで、科学的なものの見方、個人及び個人と社会・環境との関わりの中での“こころ”と行動の理解をめざす。	
	科学とくらし		本科目は、今どんな環境問題が起こっていて、それがどのような原因で発生しているか、どのような解決方法があるかなど、人間が自然の一員として持続可能な共生を実現していくことについて考える。大気や水などの暮らしの中の課題から地球温暖化などグローバルな課題へと展開することで、様々な環境問題について理解を深めるとともに、自身の問題としてその解決に向けた実践力の向上をめざす。	
	文学		本科目は、文学作品における基本的な表現技法や文学論を学ぶ。作者、成立、構成、表現、文学的意義など文学作品読解のために必要な基本的知識と技術を身につけ、作品の鑑賞を行う。文学作品を味わい、自分なりの批評ができるようになることをめざす。	
	総合科目Ａ		本科目は、人文科学、社会科学や自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目Ｂ		本科目は、人文科学、社会科学や自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目Ｃ		本科目は、人文科学、社会科学や自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目Ｄ		本科目は、人文科学、社会科学や自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目Ｅ		本科目は、人文科学、社会科学や自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目Ｆ		本科目は、人文科学、社会科学や自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目Ｇ		本科目は、人文科学、社会科学や自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目Ｈ		本科目は、人文科学、社会科学や自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目Ｉ		本科目は、人文科学、社会科学や自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	スポーツ健康科学		本科目は、テニス、バスケットボールなどの実技種目を教材として、積極的に健康づくりに挑戦するとともに、その理論と実践の融合をはかることによって基礎体力を向上させ、身体運動のメカニズムを学ぶ。	
	スペイン語Ⅰ		本科目は、スペイン語の入門科目である。スペイン語の発音、語彙、文法、会話表現をバランス良く教え、スペイン語によるコミュニケーション能力の基礎を修得する。動画などを活用し、スペイン語圏の文化についても紹介する。	
	スペイン語Ⅱ		本科目は、「スペイン語Ⅰ」を修得した学生を対象とした科目である。スペイン語の発音、語彙、文法、会話表現をバランスよく教え、スペイン語によるコミュニケーション能力の基礎を身につける。動画などを活用し、スペイン語圏の文化についても紹介する。	
	フランス語Ⅰ		本科目は、発音、語彙、会話表現、文法を、動画なども用いながら、バランスよく教え、フランス語によるコミュニケーション能力の基礎を修得する。フランス語圏の文化についても紹介する。	
	フランス語Ⅱ		本科目は、「フランス語Ⅰ」で修得した知識をもとに、さらにフランス語運用能力の向上をめざす。日常生活のさまざまなシチュエーションにおいて要求される定型表現を聞き取り、発話できることを目標とする。文法については、初級文法の学修を修了するとともに、フランス語の全体像を理解する。動画などを活用し、言語の背景となるフランス語圏の文化についても紹介する。	

授業科目の概要 （英語国際学部アジア共創学科）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
全学共通教育科目	ドイツ語Ⅰ		本科目は、ドイツ語の正確な発音、文法の初歩、基本的な語彙について学ぶ。平易なドイツ語を理解して、使用できることを目標とするため、実際のイメージが湧く教材を使い、動画などを併用しながら実践的な学修を行う。ドイツ語検定５級レベル合格を目標とする。ドイツの文化についても紹介する。	
	ドイツ語Ⅱ		本科目は、「ドイツ語Ⅰ」で学んだことを基本に、過去形・完了形などから接続法まで、初級文法について学ぶ。ドイツ語特有の文構造・語順を修得し、簡単なドイツ語文を理解し運用できる能力を獲得し、ドイツ語検定３・４級合格を目標とする。さらに、動画などを活用し、ドイツの文化についても紹介する。	
	イタリア語Ⅰ		本科目は、「イタリア語Ⅰ・II」を通して、その文法構造を理解させ、作文力を養うことで言語運用につなげる。本科目では、文法の基本事項を教え、基礎力をつけるために数多くの練習問題に取り組む。また基本構文の理解に基づき、修得した文法や語彙を応用し伊作文に取り組むことで、言語運用能力の向上をめざす。動画などを活用し、イタリアの文化についても紹介する。	
	イタリア語Ⅱ		本科目は、「イタリア語Ⅰ・Ⅱ」を通して、その文法構造を理解させ、作文力を養うことで言語運用につなげる。本科目では、「イタリア語Ⅰ」に引き続き文法事項を教え、数多くの練習問題に取り組ませる。また基本構文の理解に基づき、修得した文法や語彙を応用し伊作文に取り組むことで、言語運用能力の向上をめざす。動画などを活用し、イタリアの文化についても紹介する。	
	ロシア語		本科目は、文字、発音、文法、語彙等、ロシア語の基本を学ぶ。特に語彙は親しみやすいものに限定し、「狭く、確実に」ロシア語の基礎を固める。また、動画などを活用し、ロシア文化の紹介も実施する。	
	ポルトガル語		本科目は、文字、発音、文法、語彙等、ポルトガル語の基本を学ぶ。動画などを活用し、ポルトガル語圏の文化についての知見も深めながら、コミュニケーション能力を磨くことで運用能力の向上をめざす。	
	デンマーク語		本科目は、デンマーク語の基本的な文法・語彙・熟語の修得、および会話の練習を目的とするが、同時に動画などを活用し、デンマークの文化や習慣などについても紹介する。英語と同じゲルマン語派に属するデンマーク語を学ぶことで英語を見直す機会にもつなげる。	
	スウェーデン語		本科目は、スウェーデン語の発音や文法の基礎を学ぶ。口頭練習を通じてスウェーデン語の発音の基礎を身につけるとともに、簡単なコミュニケーションができる能力を養成する。またスウェーデンの文化や習慣等についても随時紹介する。動画などを活用し、スウェーデンの文化についても紹介する。	
	ハンガリー語		本科目は、文字、発音、文法、語彙等、文法、日常会話等を通して、ハンガリー語の基本を学ぶ。インド・ヨーロッパ語と異なるウラル語の特徴についての理解を促す。動画などを活用し、ハンガリーの文化についても紹介する。	
	フィンランド語		本科目は、文字、発音、文法、語彙等、フィンランド語の基本を学ぶ。また、動画などを活用し、フィンランド文化についての知見も深めながら、コミュニケーション能力を磨くことで運用能力の向上を促す。	
	アラビア語		本科目は、国際社会で求められている実用アラビア語を実用会話の形で教える。文字、発音、文法、語彙、アラビア語の背景にある文化や歴史、さらに、イスラーム世界のみならず、世界におけるアラビア語の重要性について触れる。動画などを活用し、アラビア語圏の文化についても紹介する。	
	ラテン語		本科目は、中世、近代を通してヨーロッパ文明の基礎となってきたラテン語の初歩的な文法について学ぶ。最終的には活用表、辞書を引きながら、簡単なラテン語のテキスト(Caesar,Nepos等)を非常に時間をかけてでも読むことのできる力を養成する。	
	就業体験実習Ａ		本科目は、本学が認める就業体験によって、会社や仕事の実態を体験的に学修し、職業観や勤労観を育むことを目的とする。その研修時間数が60時間以上120時間未満のもので、実習内容、実習先企業などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	就業体験実習Ｂ		本科目は、本学が認める就業体験によって、会社や仕事の実態を体験的に学修し、職業観や勤労観を育むことを目的とする。その研修時間数が60時間以上120時間未満のもので、実習内容、実習先企業などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	就業体験実習Ｃ		本科目は、本学が認める就業体験によって、会社や仕事の実態を体験的に学修し、職業観や勤労観を育むことを目的とする。その研修時間数が60時間以上120時間未満のもので、実習内容、実習先企業などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	就業体験実習Ｄ		本科目は、本学が認める就業体験によって、会社や仕事の実態を体験的に学修し、職業観や勤労観を育むことを目的とする。その研修時間数が60時間以上120時間未満のもので、実習内容、実習先企業などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	就業体験実習Ｅ		本科目は、本学が認める就業体験によって、会社や仕事の実態を体験的に学修し、職業観や勤労観を育むことを目的とする。その研修時間数が30時間以上60時間未満のもので、実習内容、実習先企業などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	ボランティア実習Ａ		本科目は、海外での活動を含め、本学が認めるボランティア活動において、社会的な経験を重ねることによって人格形成を養うことを目的とする。その活動時間数が60時間以上120時間未満のものを対象とし、活動内容、ボランティア活動団体などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	

授　業　科　目　の　概　要 （英語国際学部アジア共創学科）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
全学共通教育科目	ボランティア実習Ｂ		本科目は、海外での活動を含め、本学が認めるボランティア活動において、社会的な経験を重ねることによって人格形成を養うことを目的とする。その活動時間数が60時間以上120時間未満のものを対象とし、活動内容、ボランティア活動団体などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	ボランティア実習Ｃ		本科目は、海外での活動を含め、本学が認めるボランティア活動において、社会的な経験を重ねることによって人格形成を養うことを目的とする。その活動時間数が60時間以上120時間未満のものを対象とし、活動内容、ボランティア活動団体などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	ボランティア実習Ｄ		本科目は、海外での活動を含め、本学が認めるボランティア活動において、社会的な経験を重ねることによって人格形成を養うことを目的とする。その活動時間数が60時間以上120時間未満のものを対象とし、活動内容、ボランティア活動団体などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	ボランティア実習Ｅ		本科目は、海外での活動を含め、本学が認めるボランティア活動において、社会的な経験を重ねることによって人格形成を養うことを目的とする。その活動時間数が30時間以上60時間未満のものを対象とし、活動内容、ボランティア活動団体などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	

（注）

1　開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。

2　専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が４０人を超えることを想定するものについては，その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。

3　私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

4　「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

5　高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

学校法人 関西外国語大学 設置認可等に関わる組織の移行表

2024(令和6)年度	入学定員	編入学定員	収容定員		2025(令和7)年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
関西外国語大学					関西外国語大学				
外国語学部					外国語学部				
		3年次					3年次		
英米語学科	730	200	3,320		英米語学科	730	200	3,320	
		3年次					3年次		
スペイン語学科	250	20	1,040		スペイン語学科	250	20	1,040	
英語・デジタルコミュニケーション学科	200	—	800		英語・デジタルコミュニケーション学科	200	—	800	
国際日本学科	200	—	800		国際日本学科	200	—	800	
英語国際学部					英語国際学部				
		3年次					3年次		
英語国際学科	700	75	2,950		英語国際学科	500	55	2,110	定員変更(△200) 3年次編入学定員変更(△20)
							3年次		
					アジア共創学科	200	20	840	学科の設置(届出)
英語キャリア学部				→	英語キャリア学部				
英語キャリア学科	170	—	680		英語キャリア学科	170	—	680	
英語キャリア学科	120	—	480		英語キャリア学科	120	—	480	
英語キャリア学科 小学校教員コース	50	—	200		英語キャリア学科 小学校教員コース	50	—	200	
国際共生学部					国際共生学部				
		3年次					3年次		
国際共生学科	70	30	340		国際共生学科	70	30	340	
		3年次					3年次		
計	2,320	325	9,930		計	2,320	325	9,930	
関西外国語大学大学院					関西外国語大学大学院				
外国語学研究科				→	外国語学研究科				
英語学専攻(M)	15	—	30		英語学専攻(M)	15	—	30	
言語文化専攻(M)	20	—	40		言語文化専攻(M)	20	—	40	
英語学専攻(D)	3	—	9		英語学専攻(D)	3	—	9	
言語文化専攻(D)	3	—	9		言語文化専攻(D)	3	—	9	
計	41		88		計	41		88	
関西外国語大学短期大学部					関西外国語大学短期大学部				
英米語学科	550		1,100	→	英米語学科	500		1,000	定員変更(△50)
未来キャリア英語学科	150		300		未来キャリア英語学科	100		200	定員変更(△50)
計	700		1,400		計	600		1,200	定員変更(△100)